

326
204



始



15. 2. 10

326
204

產業資料 其二

花卉栽培概要

南滿洲鐵道株式會社

地方部地方課

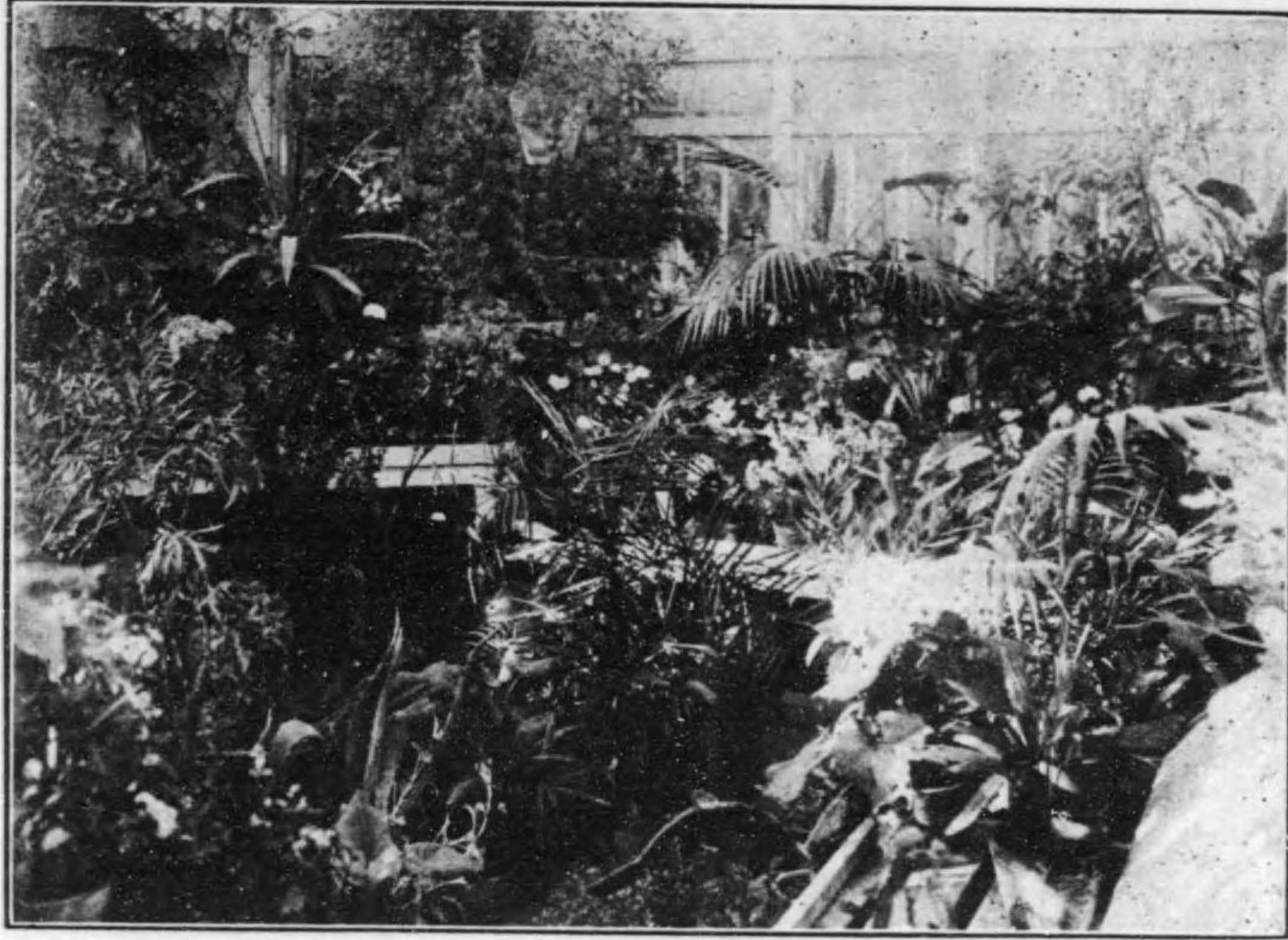
（昭和十一年）

（昭和十一年）

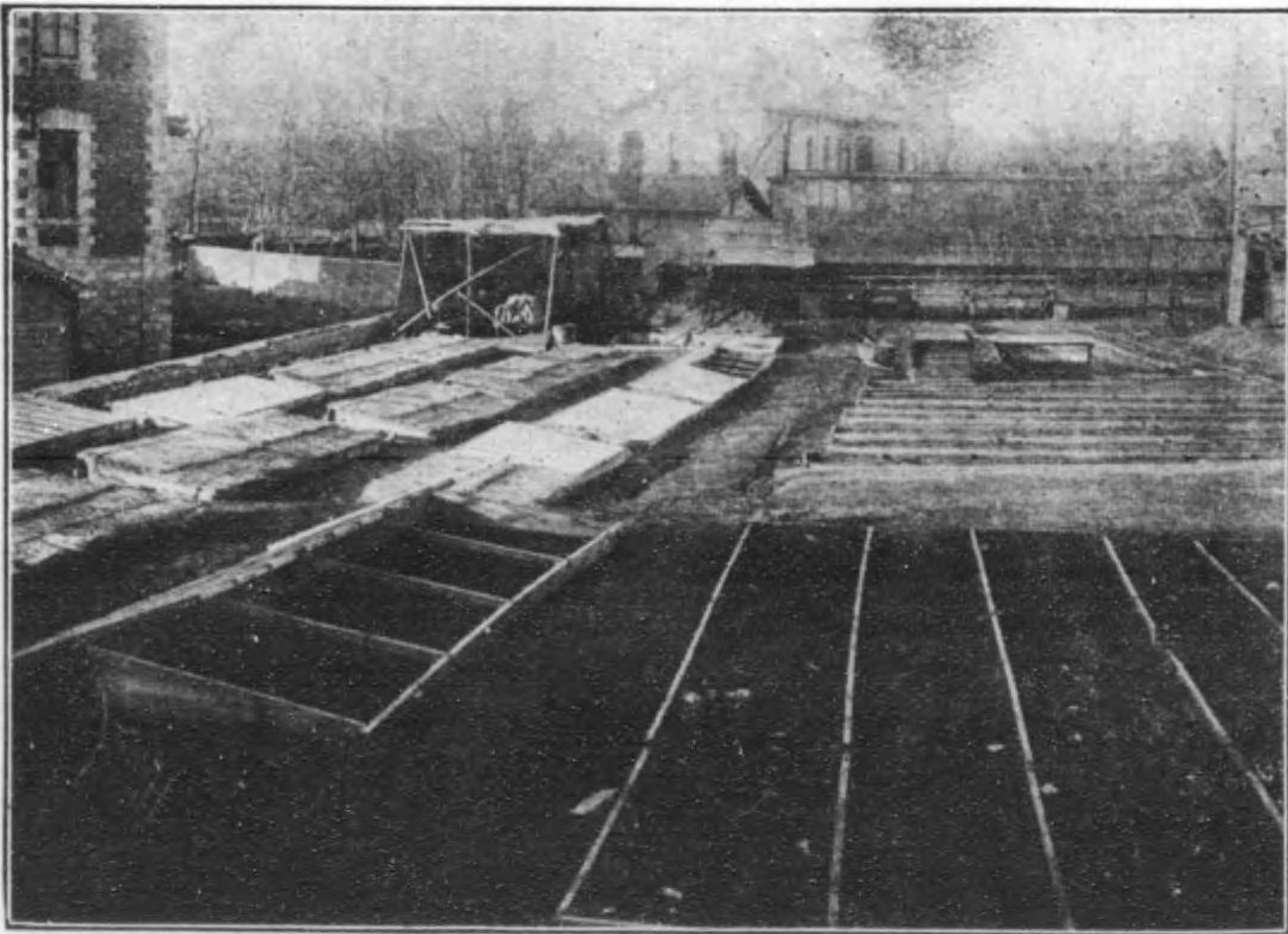
正誤表

頁及行数	正	誤
口繪三枚目下段	パ	アスベラガス
口繪四枚目上段	棕櫚	棕櫚
一六頁一五行	圖るには	圖るに
三三頁一一行	ン	アレモビエム
三五頁八行	カ	カ
三七頁一四行	科	科
三八頁九行	葱	葱
四〇頁一一行	「ウマツラ」	ウマツラ
四〇頁一一行	繁	藩
四一頁三行	カンテデツシマ	カシシマ
四一頁九行及	マシユキク	マシユキク
四一頁一五行	崖	崖
五一頁一五行	奇	寄
五六頁二行	重	八花
六六頁二行	秋	秩
六六頁九行	肥	堆土
六六頁一四行		頂
九四頁六行	薔薇	薔薇

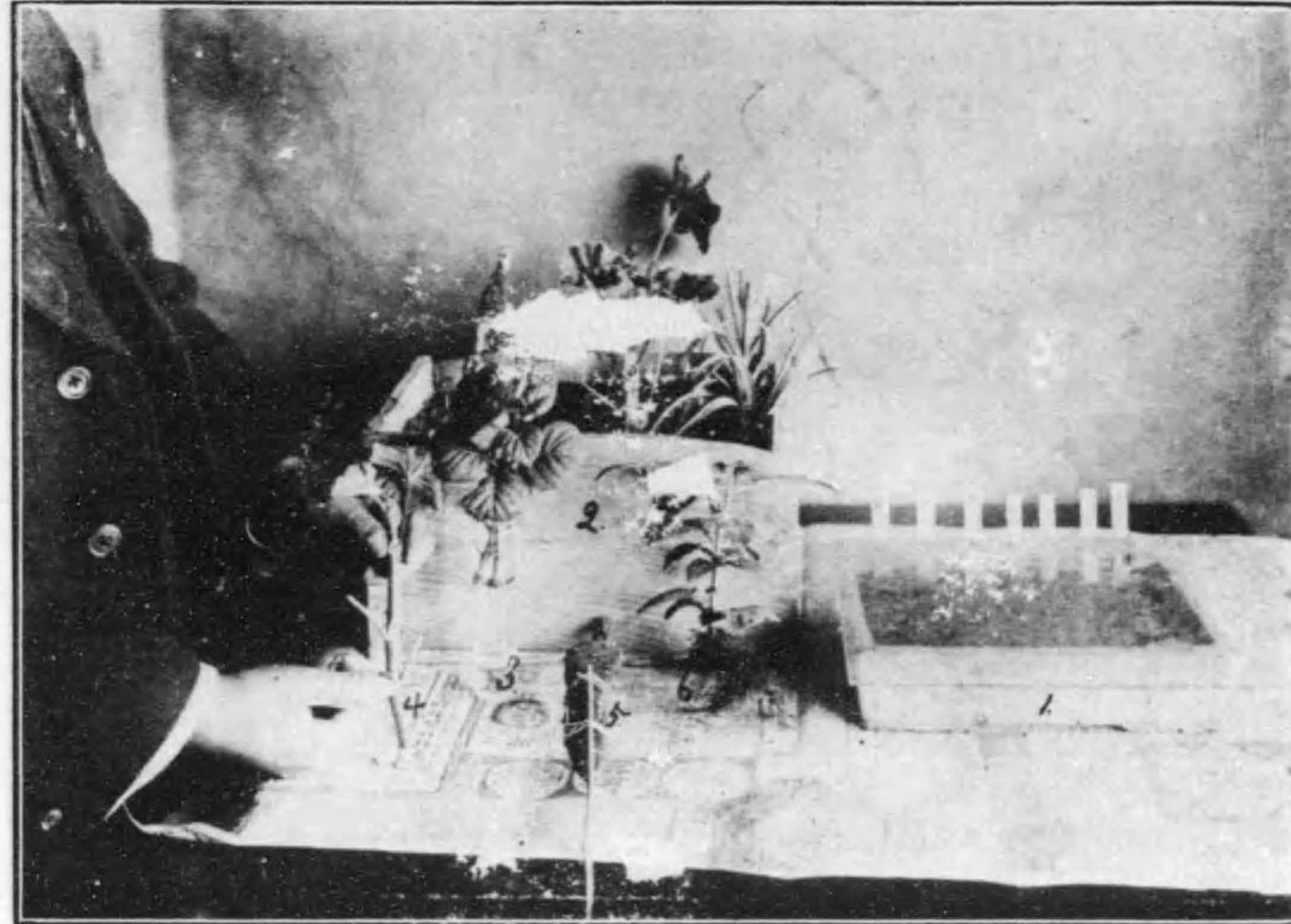
(室溫屬附館洲燕) 部内ノ室溫



(園苗屬附園公北) 床溝及床溫



ノモルへ覆チ子硝キ蒔チ子種ノ花草ニ鉢平 (1)
 ノモルタシ用利ニ函木挿儘其ヲ剛柑蜜 (2)
 ノモルタシナト挿水ヲ「ヤシクフ」ニ塚子硝 (3)
 備準木挿ノ「ンテホサ」 (5) 方剪穂挿ノ葵竺天紋 (4)
 ノモルタシ根發分充テシ木挿ノ「ヤシクフ」 (6)

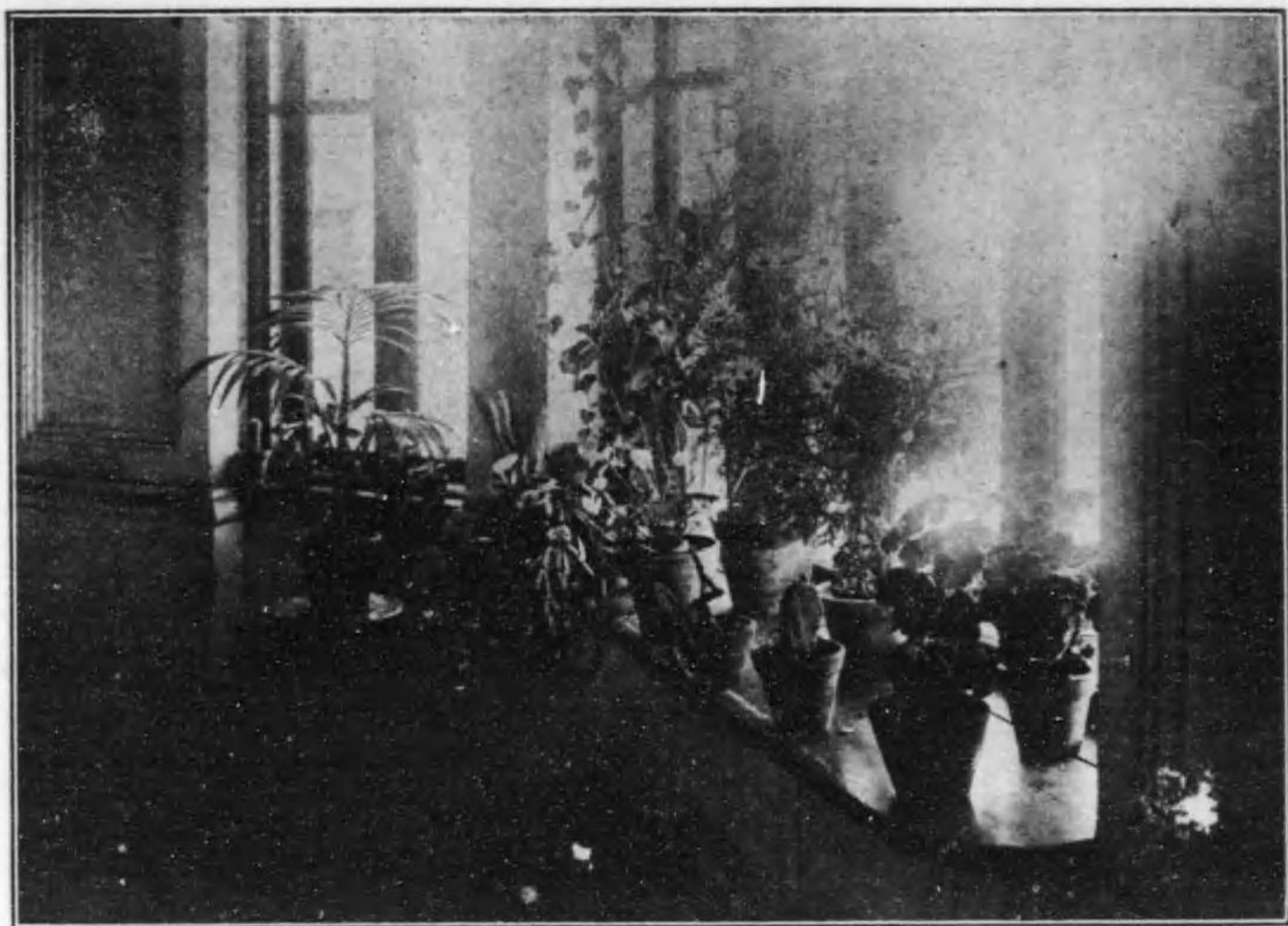


ノモルセ達ニ機時ルス要ヲ替植ニ鉢ノ他及ノモルタ植ニ鉢小ヲ生實ノ葵竺天紋



壹ノ物植用内室

、ヤチンケ、タヅキ、ヤシクフ、ンヨシーネーカ、トツレカーマ、葵笠天紋、類掌人仙



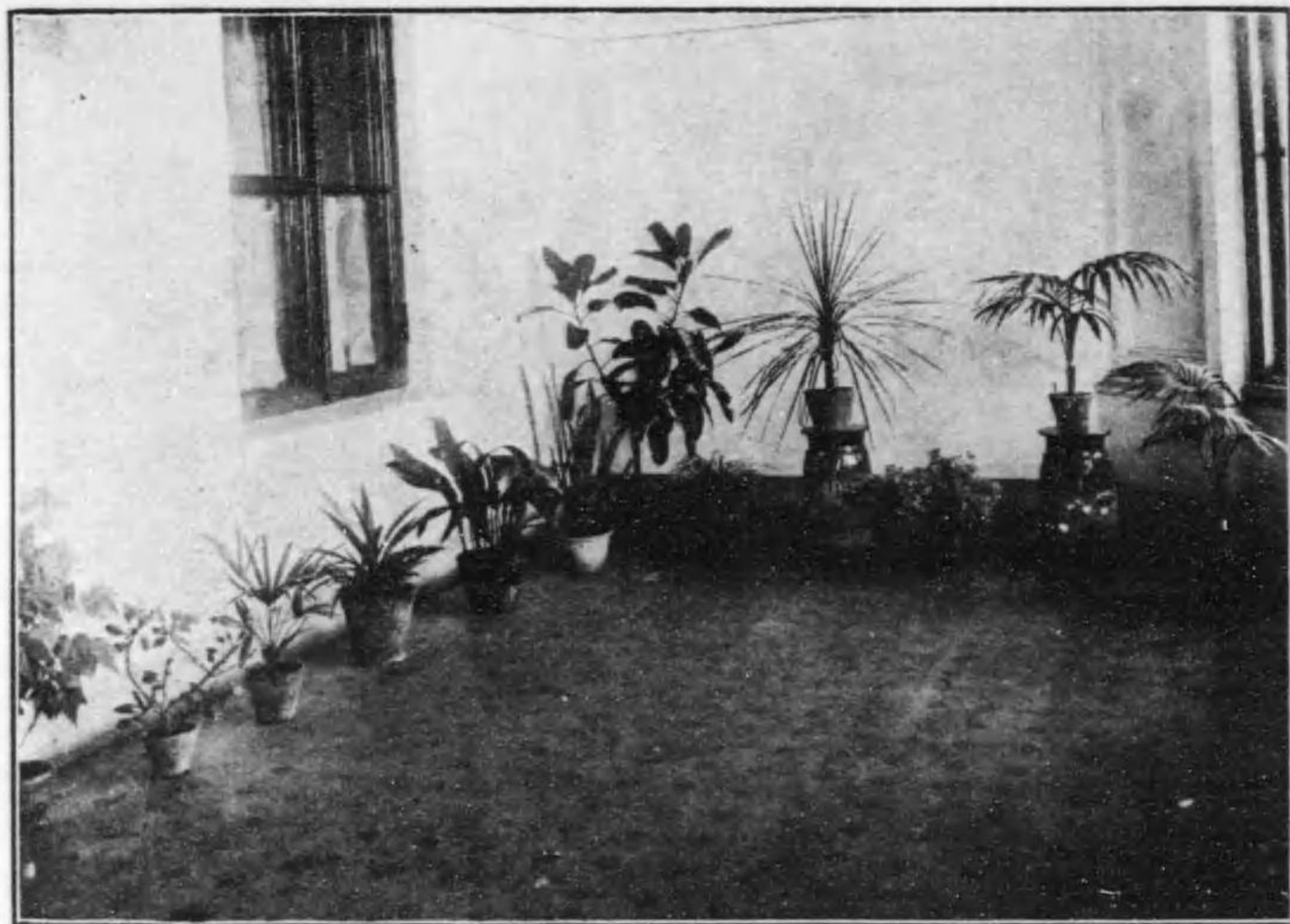
貳ノ物植用内室

ンメラカシ(4) 類掌人仙(9)(8)(3)(2) スクツライマス(1)
ーリゲンレプス、スカラバニア(7) 葵笠天葉鳥(6)ンロユチブア(5)



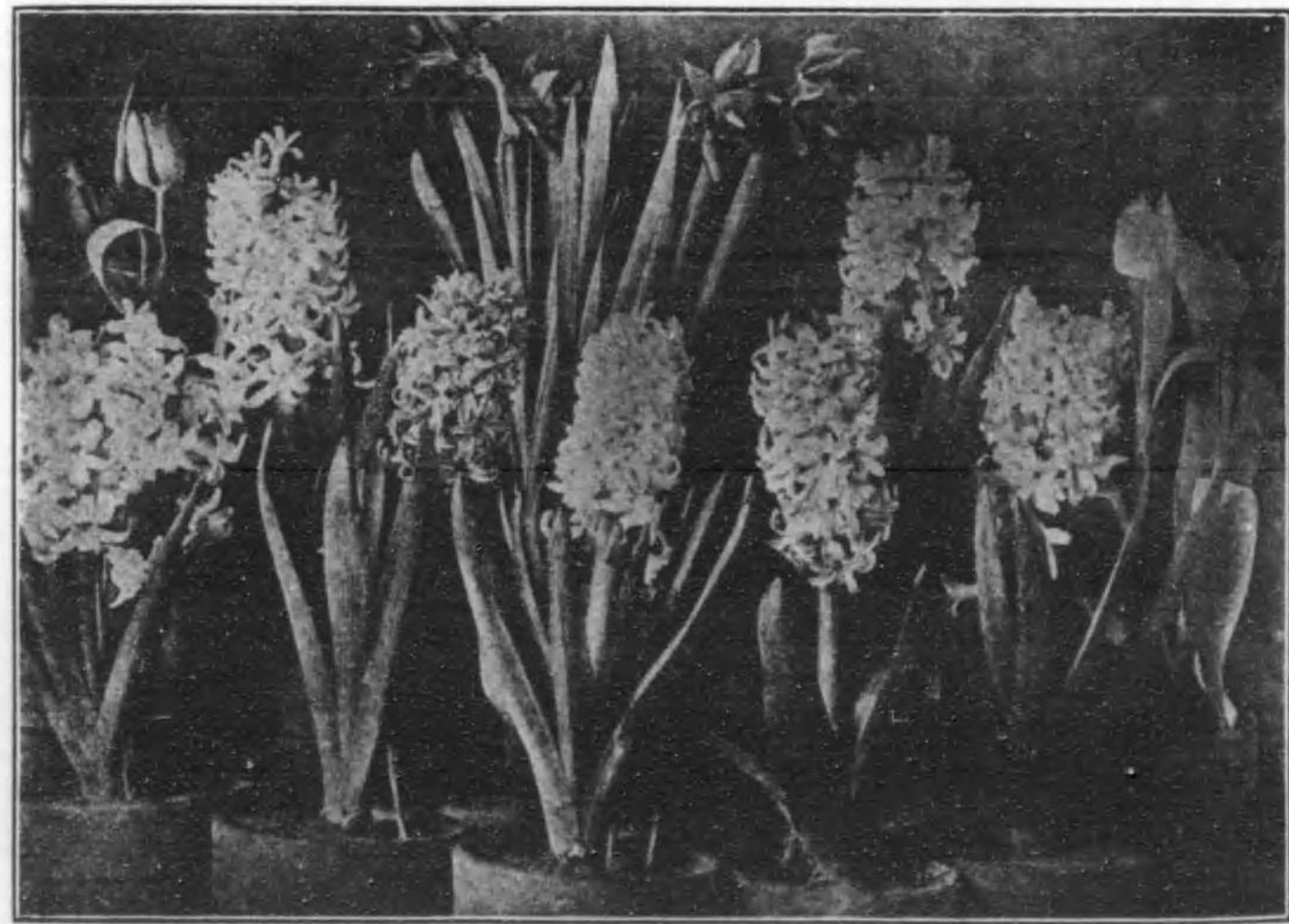
参ノ物植内室

、サビテンイナセラド、ナアリモルベヤチンケ個ニリヨ右テ向列後
、ンテボサ、榕棕、蘭舌竜、蘭葉、尾ノ虎、誤議葉青

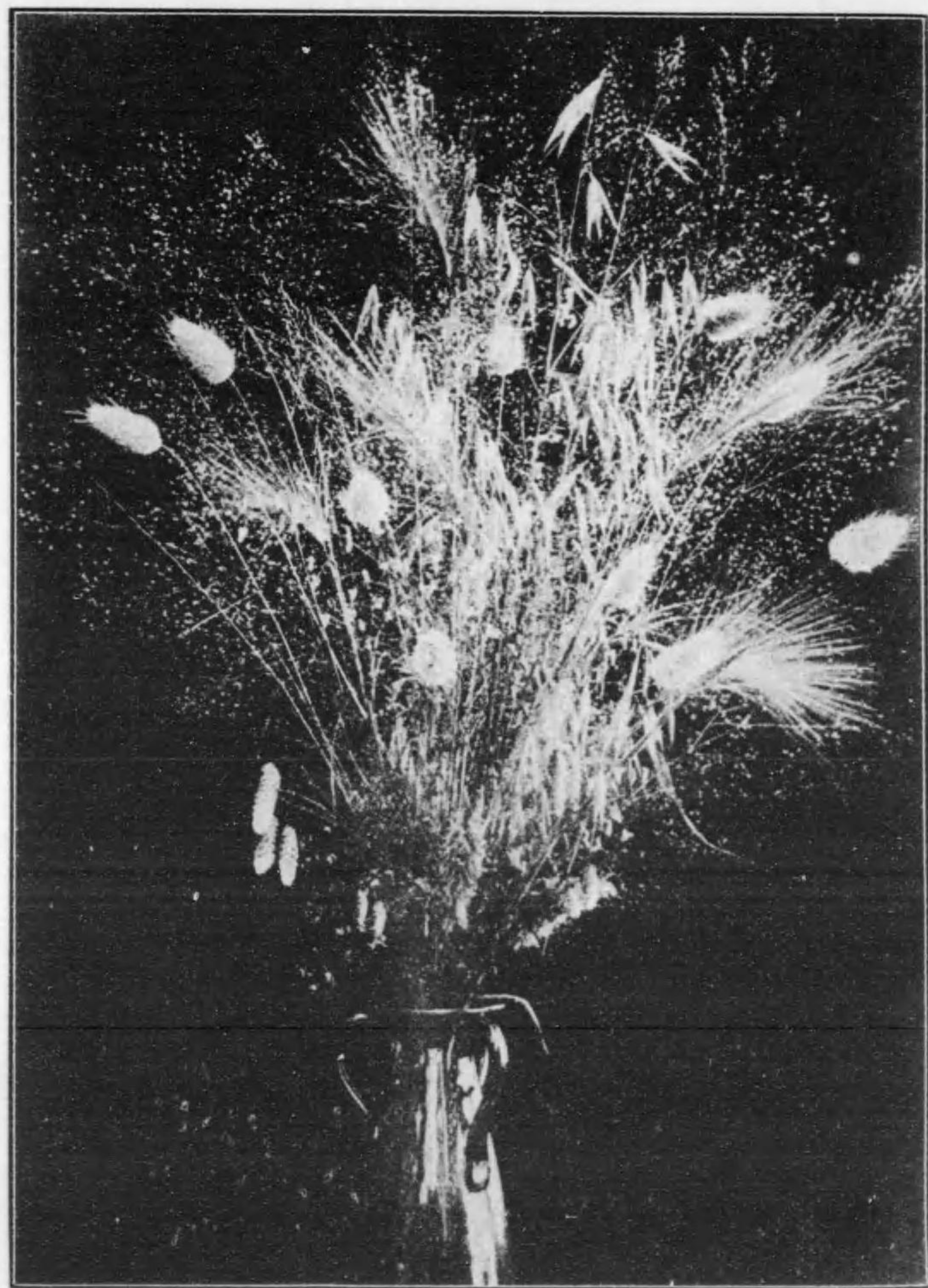


四ノ物植内室

、プツリ一ユチハルタレ垂ヲ葉ニ端兩仙水ハキ高丈モ最ルアニ央中
、スンシヤヒ部全ハ他其



々種ノ草賞觀



326-204

緒言

寄贈

内地にては植物の生育旺盛にして氣候も温和なれば短き冬季の外草木常に萎々とし
 て蒼翠擲すべく各種の花卉其間に鮮麗の色を着けて吾人の心目を喜ばしむれども滿
 洲に於ては曠野天に接し隴畝雲に連る雄大の景致はあれども山に鬱葱たる樹木なく
 川に清冽なる流水なく且一年の大半は野に一青を留めぬ有様なれば在滿の同胞が念
 頭一種荒寥の感を懷き時に望郷の情抑へ難きものある亦無理からぬ次第なり然
 も滿洲は植物の生育に不適と云ふにはあらず土地は概して肥沃にして夏日は光
 分なれば前庭に草花觀賞樹を栽培し後園に蔬菜梁菽を耕稼して樂むことを得べ
 月は暖房の設備あれば之を利用して室内園藝を興すに足る之を要するに各人の注
 と努力に依り心目を綠葉紅花に娛めて胸底に潜みつゝある荒寥の感を破り土地を愛
 着する風尚を致すこと難からざるなり
 本社が或は草花の種苗を配付し或は其栽培法を上梓し時に或は講演會を開き蔬菜品
 評會等を催して園藝趣味を鼓吹せし趣旨其れ此にあるべき歟
 此小冊子は既刊の印刷物を改訂増補せしものにして其改訂増補は年來の實驗に徴し

11 12 2
寄贈

餘儀なくせられたるものなり故に斯道同好者の参考となるべきもの一層多かるべきを疑はず本書は素より初心者の爲め簡易にして實行に益あるを期したることなれば既に幾多の経験素養ある諸子は宜しく他の専門の書籍又は斯道に造詣深き先覺者に就て研究の歩を進められんことを望む

大正四年五月

南滿洲鐵道株式會社
地方部 地方課



凡 例

- 一、 本編は大連附近に於て實驗したる花卉栽培の見地より南滿洲に於ける栽培法を編述しり
- 二、 我内地にて二年生或は多年性とする花卉も大連附近の氣候風土に適せざるものは一年生に編入したり
- 三、 草花名は普通稱呼する名稱を掲げたるものにして和名洋名を混用したり
- 四、 洋名中には學名英名其他を混用したり
- 五、 卷末に和洋名索引表を添へ讀者の便宜に供せり
- 六、 卷中温度は凡て攝氏に依れり

花卉栽培概要目次

第一編 總 說

第一章 花卉栽培と氣候との關係	一
第二章 花卉と土壤との關係	二
第三章 花卉の類別	四
第四章 花卉栽培の位置	四
第五章 花卉の肥料及用具	五
第一項 肥料	五
第二項 栽培用具	九
第六章 繁殖法	一一
第一項 冷床	一一
第二項 温床	一二
第三項 播種法	一三
第四項 室内播種法	一五

第五項	種子發芽促進法	一五
第六項	分株法	一六
第七項	球根の繁殖法	一七
第八項	挿木法	一九
第九項	苗の移植及其時季	二〇
第七章	病虫害驅除法	二一
第一項	蚜虫	二一
(イ)	燻煙法	二二
(ロ)	除蟲菊石鹼合劑	二三
(ハ)	煙草石鹼水	二三
(ニ)	エキスルオール驅蟲劑	二三
第二項	貝殼蟲	二四
(イ)	石油乳劑製法	二五
第三項	アザミウマ	二七
第四項	アカダニ	二七

第五項	病害	二八
(イ)	ボルドウ液の調製法	二八
(ロ)	フォルマリン液	三〇
(ハ)	硫黃華	三一
第八章	花壇	三一

第二編 各 説

第一章	二年生花卉	三三
一	貝細工	三三
二	雞冠草	三三
三	アマランサス	三四
四	コスモス	三四
五	花筈草	三五
六	翠菊	三五
七	木犀草	三六
八	サルビグロツシス	三六
九	立藤	三六
一〇	フロツクス	三六
一一	花罌粟	三七
一二	金雞草	三七
一三	美女櫻	三七
一四	タゲテス	三七

一五、ハルシヤギク	一六、百日草
一七、金盞花	一八、天人菊
一九、ヘリアンサス	二〇、パンジト
二一、王不留行	二二、白粉草
二三、金魚草	二四、サルビヤ
二五、花菱草	二六、釣鐘草
二七、朝顔	二八、紫羅欄花
二九、金雀花	三〇、スキート、サルタン
三一、忘忽草	三二、マガリバナ
三三、胡蝶草	三四、クラッキヤ
三五、金蓮花	三六、アリサム
三七、ゴデヂヤ	三八、花春菊
三九、岩蓮華	四〇、觀賞草
四一、瓠簞及糸瓜	

第二章 多年生花卉……………五九

一、アクイレジア	二、チヂギタリス
三、カーネーション	四、ピランジ
五、天竺牡丹	六、石竹
七、鬼罌粟	八、除虫菊
九、アスパラガス	一〇、秋菊
一一、アンチユース	一二、シヤスターデジ
一三、カンナ	一四、香紫羅欄花
一五、君が代蘭	一六、イリス
一七、芍薬及牡丹	一八、景天草
一九、紫萼	二〇、荷包牡丹
二一、大花忍冬	二二、楊梅
二三、地錦	

第二章 第三編 室内園藝

第一章 一般の手入法……………八一

第一項 繁殖法及肥土	八二
第二項 培養土	八二
第三項 植木鉢	八二
第四項 鉢植法	八三
第五項 隙間風及塵埃	八四
第六項 灌水法	八五
(イ) 土壤の表面より観察する法	八五
(ロ) 素焼鉢の表面より観察する法	八五
(ハ) 打音観察法	八六
(ニ) 土の硬度により観察する法	八六
第七項 窓函の構造及取付法	八七
第八項 押出窓	八八
第九項 室内の温度	八九
第二章 室内用植物	八九
一、ウキツリボク	八九
二、天竺葵	八九

三、ヘリオトロップ	九〇
五、ベチユニア	九〇
七、マーガレット	九〇
九、ヒヤシンス	九〇
一一、花泊夫蘭	九二
一三、シクラメン	九四
一五、カラデユーム	九六
一七、棕櫚類	一八
一九、オホカヤツリグサ	二〇
二一、仙人掌	二〇
二三、其他の種類	二二
第三章 窓函用植物	二二
第四章 釣籠用植物	二二
附	二二
和名索引表	二二

洋名索引表 二八

花卉栽培概要

第一編 總說

第一章 花卉栽培と氣候との關係

花卉栽培上最も大なる關係を有するものは氣候なり滿洲の氣候は在住者の既に知悉せる如く四季の變化甚しく種苗の發芽生育の最も盛なる春季に於ては雨露少くして甚しく乾燥し初夏雨季と稱する季節に於てのみ雨量多く秋季に至りても亦降雨少く冬季に至りては寒氣激烈なるが故に内地にありては何等の異狀なく越年すべき宿根類も或る特種のもを除外は嚴寒に遇ひ終に凍死を免かるゝこと能はざるに至る故に花卉を培養せんと欲するものは各自の嗜好に従ひ其種類を撰擇すること元より妨なしと雖も其地方の風土に適合するものを選定すること最も緊要なりとす

第二章 花卉と土壤との關係

花卉を栽培せんには先づ氣候の如何を知るの必要あるべしと雖も亦土性を詳にせ

ざるべからず土壤は一般植物の倉庫にして植物は之より養分を攝取するものなれば
 花卉の種類異なるに従ひ其土性を改善し植物に適するものとなすにあらすんば良好
 なる結果を得る能はず殊に鉢植植物の如き一小区域内に栽培せらるゝものに至りて
 は深く此處に留意を要するものなり
 土壤は素と岩石の崩壊より成り岩石は鑛石の集合より成るを以て其の性質片言の能
 くする所にあらず茲には單に土壤粒子の混合上左の數種に區分し栽培上の用語に充
 つ

壤土	土と砂と相半せるを標準とす
粘土	土の割合七八分位
重粘土	土の割合九分以上
砂土	砂の割合七八分位
輕鬆土	草木葉の腐蝕して細末となりたるものゝ多き土にして膨軟なり
其他	
砂質壤土	壤土と砂土との中間にあるものを云ふ
粘質壤土	壤土と粘土との中間にあるものを云ふ

壤土は土と砂との相半せるを以て各種の花弁栽培に適すと雖も土壤中には又動植
 物の腐蝕せるもの即ち有機物の含有するを貴ぶ有機物は土中に在りて濕氣を保ち且
 つ植物の營養物を保持するものなり而して滿洲の土壤一般に有機物に缺乏せるは主
 として空氣乾燥し且つ冬季寒さ強くして腐蝕作用起り難きと農民等作物の落葉及株
 根に至る迄收拾し燃料に供し有機物質を土壤に返還せざるとに因る之が爲め滿洲の
 土壤は一度乾燥せば地表恰も「セメント」の如く固く爲めに花卉の如き細粒種子の發芽
 を害せらるゝは栽培上一の障礙なりとす
 大連市内に於ける或る方面の土壤は表土淺く寧ろ岩石を露出しある箇所ありて鶴嘴
 を用ゆるに非ざれば之を墾起すること能はず斯かる場所には客土と稱し他の土壤と
 入れ換へを爲すにあらざれば栽培に適せざるものなり奥地に入りては土地比較的肥
 沃なるも氣候に於ては遠く南方に及ばざるを以て兩地自ら栽培法を異にす可きは言
 を俟たず
 肥土の調製法 花壇の土壤を肥沃ならしめんが爲には馬糞厩肥等の酸酵腐熟したる
 ものを混入して土壤を膨軟ならしむるは最も良き方法なれども市街に於ては之を爲
 すこと困難なるが故に邸内空地の一隅に穴を掘り置き之れに日々の廢物たる野菜屑

魚鳥の屑其他糞繩切雜草落葉鳥糞等を得るに従ひて埋め之を覆ふに少量の土を以て
するとき臭氣外方に發散せざるのみならず容易に酸酵腐熟して貴重なる有機質肥
土堆肥とも云ふ)となる斯くして造りたる肥土は獨り花壇に使用するのみならず鉢植
用土壌を造るに當り缺くべからざるものなれども其配合の割合に至りては用途を異
にするに従ひ同じからざるが故に各其場合に詳説することゝせん

第三章 花卉の種類

觀賞植物中には花の美なるものあり莖葉の美なるものあり或は又果實の美觀を呈す
るものあり夫々特長を有し其數甚だ多し加之形態生所及び生存期間の長短等同じか
らざるが故に學者に依り多少類別を異にするも本書に於ては通俗を旨とし二年生
花卉多年生花卉球根花卉室内花卉の四種に分ちて述べんとす

第四章 花卉栽培の位置

花卉の栽培には氣候並に土質の關係大なることは既に叙述せる所なれども栽培の位置
亦忽諸に付すべからず温室及室内に於ては巧に氣候を左右し得可きも露地に於ては

之れを爲すこと能はざるを以て其の位置を選擇の外なく先づ風當り少なく日當り能
く且つ排水並に灌溉にも便なる場所を第一とすべきも又須く土質を參酌すること
忘るべからず而して沿線各地社宅又は住屋構内は概ね花卉の栽培に適せざる所なき
が如し

第五章 花卉の肥料及用具

第一項 肥料

肥料は吾人に於ける飲食物の如く植物には必要缺く可らざるものにして其種類多く
含有成分も又同じからず故に植物の種類により選擇を異にせざる可らざるは勿論な
りと雖も要するに各地方に於て得易き人糞馬糞雞糞油粕豆粕庖厨貯溜水等を使
用するを便とす而して肥料は多くは惡臭を放つも懸て化して艶麗優美の花を形成せ
しむるものなれば適宜之を施すことを要す其使用に方り根元に灌ぐときは植物を損
傷することなきにあらざるを以て直接根に接觸せざる様施すを安全なりとす然れど
も止むを得ざる場合は極めて稀薄ならしめて施す可し凡て肥料は寧ろ薄きに失する
も濃厚に過ぐることなき様注意肝要とす

尙ほ近來各種の化學肥料を輸入或は生産して容易に購入することを得るに至れり之等は追肥として灌水の際隨時水に溶きて施肥する時は人糞油粕類等の有機質肥料の如き臭氣なく且つ取扱に便なるが故に庭園室内用等に極めて重寶なるものなり

人糞尿 人糞尿は豫め腐熟せしめたるものに五倍乃至八倍の水を混和し成長の度に從ひ時々之を施すを可なれども肥料土を製造するに際し土厩肥其他のものと交互に堆積し交雑物の腐熟したるときに之を切返し使用するときには悪臭の發散を防ぐのみならず有効なる肥土を製造することを得又支那人の使用する土糞と稱し人畜糞と土を混じたるものは是又園藝肥料なるが故に播種及移植の際少量宛丁寧に土に混和して施用す可し

厩肥 牛馬糞等は充分腐熟したるものを用ゆ可し其の敷葉類と混じ厩より出だしたるものを厩肥と稱し農場肥料として重用なるのみならず如何なる土質にも適し且つ經濟的なり之れを使用するには充分腐熟したる黒色のものを貴ぶ醗熱灰白色を呈したるものは其の効少し厩肥の効力は二三年の久しきに渉るを以て栽培地には早春より地下に鋤込み尙水肥を補給せば花卉の發育蓋し良好なるものなり

粕類 油粕豆粕等は水瓶或は樽(鹽分等なきもの)の如きものに油粕一升到水一升或は

豆粕八合に水一升の割合にて混入し少くとも一週間以上を経過して其上澄を汲み取り約十倍位に薄くして施す可し又幼苗或は根分挿木等にて繁殖し根の發育充分ならざるものに對しては十五倍又は尙ほ薄くして施す可し要するに凡ての肥料は其植物の老幼及強弱に依り濃度を加減することを忘るべからず而して上澄を汲み取りたる後は又元の如く水を満たし置き最初のものよりも稍々濃く溶きて使用し數回斯く行ひたる後は其殘粕を畑土と混合して庭の一隅に堆積し置き培養土に用ひるを良とす尙ほ粕類を浸水して最も安全に使用し得るは三箇月位を経過したる後なり人糞尿汚水の如き水肥には夏時蠅集まり産卵し盛に繁殖するものに付肥桶には常に蓋をなし密閉し置く様なすべし

鶏糞 鶏糞も亦有効なる肥料なるも水分を與へて堆積腐熟せしむるか或は馬糞其他の厩肥等に混して醗酵せしめたる後使用せざれば植物の生育を害するものなり尙ほ糞中に混入せる雜草種子の發芽茂生を見るの失あり

化學肥料には硫酸アンモニヤ過磷酸石灰炭酸加里硝酸曹達智利硝石其他種々あり概ね濃厚なる肥料成分を含有し且速効肥料にして取扱上汚穢ならざる利便あれば園藝を行ふ者に取りては極めて重用なるものなり然れども此種の肥料を施す可き土壌は

有機質物の缺乏せる時は其の肥効少く且つ肥料分を保管すること難きものなれば適宜の有機質物を含むこと肝要なり

右を要するに南滿洲の如き降雨少なく土壤の乾燥甚しき土地に在ては厩肥堆肥其他の動植物性肥料を施すも其の成分は土壤中に分解せらるゝこと少く直ちに植物根に接觸するときは濃厚なる肥料分の爲めに生育を遂ぐる能はず遂に枯損に至ることあり依て成る可く腐熟したるものを充分粉碎し土壤中に不平均なき様混和す可し又是等の施肥期は晩秋或は春季解氷を待ちて直に施すを宜しとす

而して植物の生育中は雨季を除くの外成る可く人糞馬糞豆粕油粕類骨粉化學的肥料其他の水溶液肥料を施して土中に能く浸透せしめ植物根をして肥料を吸収し易からしむる様勉む可し

化學肥料 園藝肥料として重用なる硫酸アンモニアの使用量は幼苗に對しては水一斗に對し十匁を溶解して用ひ稍生育して強健となるに隨ひ濃厚となす可く其限度は硫酸アンモニアの量を二十匁迄とす又智利硝石は水一斗に對し十二匁にして用法は硫酸アンモニアに準じて可なり過燐酸石灰は水に溶かすも可なれども成る可く元肥として土壤に混入す可し花壇に於ては一坪宛五十匁乃至七十匁位を施す可し

第二項 栽培用具

花卉の栽培には其種類に依り夫々適當の取扱法ありて之に要する器具も一通りは準備を要するものなり用具の準備不完全なる時は作業充分に行はれず勞多きのみにて効果少なきものなり聊か参考の爲め重なる器具に付次に概説すべし

一 移植鋤 移植鋤は花卉苗を花壇其他の箇處に移植の際根を損傷することなく土附の儘掘取り又は培養土の調合花壇の整地等にも缺くべからざる器具なり其形狀小さき「シヨールベル」の如く鋼鐵又は軟鐵製あり普通鐵の部分の長さ五寸乃至八寸あり鋼鐵製は稍々高價なれども使用上及切れ良く且つ長く使用に耐ゆる利益あり(末尾價格表参照以下同じ)

二 如露 花卉の灌水に最も必要缺くべからざるは如露にして幼嫩なる苗には極めて細目の噴出口を有するを用ひ活着して強健なるものには稍々太目の噴出口を有するものを用うる様なすべし近時一個の如露に種々の噴出口を自由に取替へ使用し得るものあり園藝家の必携すべき器具ならん噴出口は噴出筒に對し直角なるものよりも甚だしく傾斜せしめて作るときは灌水の爲め土壤の壓着を軽減し得るものなり

一〇
 三、剪定鋏 剪定鋏は花卉の枝梗莖根等を切斷するに用う花鋏に比し力を要せず且つ切斷部を損傷することなきが故に賞用せらる

四、篩 篩は培養土調製に必要にして其形狀種々あり普通直徑一尺二三寸の丸形に亞鉛引鐵線製の七厘目乃至二分目網のもの一二種を準備するを重寶とす

五、植木鉢 花卉を培養するには通常素焼鉢を用う黒焼赤焼兩種あり黒焼は外觀悪し赤焼は上縁に約一寸巾の階段をなすものあり體裁宜しく釣鉢として觀賞するに適す

六、レキ 一レキは園地の土壤を均平にして土塊を碎き草根塵芥瓦礫等を掻き集むるに便なり

七、「ホー」「ホー」は除草用の外花卉を植うるに當り淺く土壤を耕耘するに便なり二、三種あり

八、鋤 鋤は土壤の耕起又は整地植物の堀取等に用ふ形狀種々あるも小形平鋤及唐鋤は園藝上廣く使用せらる

九、小刀 小刀は花卉の挿木接木等に用ふるものにして鋭利なるものを選ぶべし使用

の目的により芽接刀、剪定刀等種類一様ならず

其他園藝用具としてポンプ、ブホーク、シヨール、管支柱、菌及ラフキヤ等の結束材料、毛筆、海綿等を備ふるの要あるものなれども規模の如何により取捨すべきものなり左に資料として普通器具の販賣價額を示さん

品名	價額 (一箇ニ付 送料共)	品名	價額 (一箇ニ付 送料共)
移植鋤	十八錢乃至一圓	レキ	七十錢乃至二圓
如露	二十五錢以上二圓以下	ホ	一圓五十錢乃至二圓
剪定鋏	六十錢乃至三圓	平	八十錢乃至一圓
篩	徑一尺二三寸 六十五錢	小	八十錢乃至二圓
素焼植木鉢	徑一尺もの 十五錢		

第六章 繁殖法

苗を仕立つるは恰も乳兒を保育するに等しきが故に其の管理方法は栽培者の最も注意を要する所にして冷床又は温床を設け或は温室内又は時として窓前等に於て之を爲すことを得而して其法種々ありと雖も播種法、分株法、ねわけ、壓條法、とりき、挿木

法及び接木法等あり而して播種法には春季に於てなすものと秋季に於てなすものあり或は春秋兩度に播種し得るものあり又播種後苗を仕立て移植するものと花壇若くは鉢類に直接播付くるもの等あり今左に之か諸法に付て略述す可し

第一項 冷床

冷床とは露地に陽光外温を利用して整ふる苗床にして其の構造に種々あれども滿洲に於て簡易に行はるべき方法は氣候風土の關係上溝床法を以て適するものゝ如し溝床法は滿洲在來の法にして先づ苗床設置に適當なる場所即ち風當り餘り強からず日當り良き位置を選定し地面を巾三尺深さ一尺位長適宜の長方形の溝を作り後耕作土を六寸位の厚さに入れ均らして粉末にせる土糞堆肥又は人糞尿等を適宜不同なく散布し其の上に篩にて肥料の見わざる程度に表土を被ひ板片にて軽く均らし二三日を経て種子を播下す此床面には寒氣及風害を防ぐ爲め油紙障子簾又は高粱程を被ひ以て床内を保護す若し床の内壁崩壞の虞ある時は板又は高粱程の類を以て支ふるの設備をなすべし而して床面は播種後地表面より四五寸程低部にある様拵へ淺き時は周圍に盛土を爲すべし

第二項 温床

温床の構造に種々ありて其の加熱法にも馬糞葉等の醸熱利用温泉利用温湯蒸氣熱及火熱の供給法等あり然れども最も簡易なる方法は冷床に就きて述たるが如き位置を選び三月始め巾三四尺深さ一尺長さ適宜の穴を東西に長く掘り之れに馬糞葉其他の醸熱材料を七八寸の厚さに積み過濕にならざる様水を注ぎ足にて踏み其上に三四寸の厚さに肥土を盛り出來上りたるものに蓆或は炭俵の如きものを覆ひ床の周圍には板切或は古俵の如きものを以て北側は高一尺南側は七八寸位圍ひをなし床面は油紙障子或は硝子障子を覆ふべし夜間は右障子の上に蓆様のものを掩ふときは醸熱物の酸酵を早からしむ可し斯の如くなすときは三四日間にて適當の温度を得るが故に此際播種するも差支なしと雖も醸熱尙三四日間上昇するものなるが故に此際播種せんとせば土の表面のみは其熱の上昇せざる様障子を多少透して外氣を入れるを宜しとす而して播種に最も適當なる時期は普通一週間位を経温度は攝氏二十度乃至二十四五度位の時にして發芽後は二十度内外を最も安全とす

第三項 播種法

種子には大小輕重ありて一樣ならざるも其の播種は密なるよりも粗なるを良とす而して極少粒のもの例へば花烟草「チギタリス」「オダマキ」三色「スミレ」美女櫻金魚草等の

如きものは撒播して別に土を覆はず只種子の上を軽く押へて僅かに土に埋まる様に
 取扱ひ置くべし尤も乾燥を防ぐ爲め藁を覆ひ時々灌水をなすの必要なることは言ふ
 迄もなし大粒の種子は床上巾二寸位宛淺溝を切り之に播種して土を被ふべし其程度
 は粒の大きさに比し二倍位の土を被へば足れり若し粘質土壤なるときは細砂堆肥等を
 混入してよく床上を膨軟ならしめ種子を蒔き其上に細砂又は輕き土にて覆ふ可し
 貴重なる種子又は微細粒の種子を播かんとするには多くは鉢播とするものにして其
 の法は水切をよくする爲め鉢の底に大豆大の小石を布き又其上に米粒大の砂を入れ
 壤土若は木葉草類等の腐蝕土と砂を平等に混したるものを盛り之を均して種子を蒔
 き軽く壓さへ付け乾かぬ様微温水を穴の小さき如露を以て撒布し其上に硝子板を蓋
 となし日光の直射強ければ白紙を被ひ置く可し然るときは早きは二三日大抵一週間
 前後にて發芽生育するものなり
 直播すべきもの 直播は罌粟虞美人草花菱草等の如き移植を忌むもの又は丈夫なる
 花卉に付て行ふ法にして先づ畑を耕し水肥を施して薄く土を被ひ無風の日下種し更
 らに土を覆ふべし發芽後は苗の葉と葉相重ならざる程度の距離に屢々間引を行ひ強
 健に仕立つる様なすべし

第四項 室内播種法

此法は洋風邸宅に於て行ひ易し其方法は日當りよき室内の窓下即窓臺に淺鉢又は
 巾八寸長さ一尺二寸深さ四寸位の箱密相箱を深さ四寸位に切取り利用するも可なら
 んに肥土を入れ板切にて軽く壓し細目の如露にて灌水し種子を蒔きて其上に土を薄
 くかけ硝子板を覆ふ可し此の法は露地用の爲めには三月上中旬に室内栽培には一年
 を通じ隨時行ひ得るものなり
 極小粒の種子の播き方 極めて小粒なる種子例へば「ベゴニア」「グロッキシニヤ」「シ
 ダ」類蘭類等の如き種子を播種するには水盤或は皿の如きものに水を満たし其の中に
 充分水を吸収せしめたる煉瓦或は素焼鉢を倒に伏せ置き其上に播種し水盤或は皿の
 水を絶わざる様注意して補充を行ひ適當なる温度の下に弱き光線を與ふる時は種子
 は常に適當の濕潤を得て完全なる發芽をなすものなり「ベゴニア」及び「グロッキシニヤ」
 の如きは煉瓦上に僅か一分厚さ位に細砂を置き其上に播種するときは尙ほ好結果を
 得べし

第五項 種子發芽促進法

凡ての種子類は發芽に際し適當なる水分と温度とを要するものなれども其種子の大

小組成乾燥の程度等によりて發芽に遲速あり早きは四五時間遲きは一二年を要する
 ことあり彼の牡丹及び芍薬の如きは現今尙ほ二年乃至三年の歲月を要すと云へり然
 れども之れを播種するに當り種子の外皮の一部分を小刀或は鑷の類にて穿ち温湯に
 浸し子實膨脹して種皮との間隙なくなるを程度として引き上げ播種する時は露地に
 於ては其年に發芽し温室其他適當の温度を有する所に於ては僅かに一二箇月にして
 發芽せしむることを得るものなり「カンナ」牡丹其他の種子の如き硬質の外皮を有する
 ものは概ね右の方法にて發芽を促進し得べし其他硬質外皮を有せざるも發芽遅きも
 の例へば「シクラメン」又は「棕櫚科」に屬する一部種子の如きは其儘温湯に一晝夜以上浸
 して播種するを良とす、されば一般に大粒の種子は浸水して播種する方發芽を促進す
 るを得小粒の種子と雖も浸水の上播種するを利ありとすれども熟達せざるものは
 浸水中發芽せしむることあるものなれば特に注意を要すべきものなり尙ほ小粒種子
 を浸水したる場合には種子の充分膨脹したるを見計ひ水を切り乾燥せる木灰或は細
 砂に混じて播種に差支なき程度に種子表面の水分を吸収せしめて後播下す可し

第六項 分株法

宿根草の繁殖を圖るに此法に依るものにして種類の異なるに從ひ其法亦一様ならず

第七項 球根の繁殖法

と雖ども概ね春季に於て母株より適宜に分株するものとす
 球根の多くは母球をさへ充分發育せしむるときは年々多數の子球を得るものなり又
 其子球を肥培するときは早きは一年晚くも三四年にして子球を繁殖せしめ得べし然
 れども「シクラメン」「グロキシヤ」の如く特に人工にて繁殖するものあり母株より
 自然繁殖を成すものと雖も「百合」「ヒヤシンス」の如きは其鱗片を以て繁殖を行ふことを
 得即ち百合にありては其球根の鱗片一枚宛を剝ぎ取り砂に挿し子球を得る方法にし
 て之を貝伏せとも云ふ此場合に用ゆる母球は三年以上の熟球を必要とし「ヒヤシンス」
 にありては花終り葉枯れ球根の完熟したる時掘り取り球底より球の中央に達する迄
 十文字に切り目を入れ其儘植付け子球を多く得る方法もあれども洲内に於ては甚だ
 難事なるが故に此所に之れを略す
 「グロキシヤ」は其大なる球根の頂部には三四芽を有するが故に植出前鋭利なる「ナイ
 フ」にて其球根を堅に一芽宛附けて切斷し各切口には木灰を塗りて輕き砂壤土に植込
 む可し然れども「グロキシヤ」は概ね實生或は葉を挿して繁殖する方最も簡易にして
 普通行はるゝ所なりとす

「シクラメン」も亦人工繁殖を施すことを得るも其方法は熟練せざれば母球をも腐敗せしむるの虞あり而して其方法は夏季の休眠中即ち八月頃數芽を有する大球の一芽を芽接刀の如きものにてえぐり取り砂床に挿し強からざる陽光を當て保護するときは翌年より開花するものなり然れども之が繁殖は播種實生に依るを安全なりとす「ダーリア」の如きは實生挿芽塊莖分離法等により繁殖するを得而して球莖分離法に就きて注意す可きは其塊莖の芽は必ず親株に接して一芽宛あるが故に堀取り其他の取扱ひに際し塊莖の細首を折損せざる様注意すること肝要なり若し誤りて細首を折損するときは塊莖は枯損せざるも其の芽は枯死を免れざるものなり若し得るに困難なる優良種にして其芽を枯損し舊莖のみ残存したるときは之を肥土中に埋め適度に灌水施肥する時は該球より發芽せざるも更に新らしき球莖は母球に接して生し翌春之れより發芽するものなり「モントブレチャ」「グラデオラス」「イキシヤ」「フリージャ」「クロカス」等の如きは堀取の際に母球の下部に多數の子球を有するが故に之を翌春肥土に培養する時は其翌年より開花するものなり尤も子球と雖も母球に等しき程大きく發育したるものは其翌年より開花す又「モントブレチャ」「鈴蘭」等の如きは其地下莖を數箇に截斷して繁殖す

ることを得

第八項 挿木法

挿木法には枝挿法芽挿法葉挿法根挿法等あり枝挿法は一般に行はるゝ方法にして菊薔薇天竺葵フクシヤ「カーネーション」金蓮花「マーガレット」其外多くの花卉は此法に依りて繁殖し得るものにて其方法は二三芽乃至四五芽を枝に存して截り挿木するものとす
 芽挿法は「ダーリア」「グロキシニヤ」「カーネーション」「ベチユニア」等に多く用ゐらる
 葉挿法は「ペゴニヤ」「グロキシニヤ」菊其他の多肉質の葉に行はる
 根挿法は根の各部より發芽し易き植物例へば「アンチユースー」「アカシヤ」「ツタ類」忍冬類柘榴の如き類之なり
 挿木箱は石油箱又は密柑箱を其儘利用するも妨げなし箱の深さは五寸位を可とす尙箱の底板に空隙少なき時は小穴を所々に明けて水排き宜き様なす可し而して底には小石或は素焼鉢の小破片の如きものを厚さ一寸位に敷き其上に小砂利を五六分厚さに置き尙ほ其上に荒砂を二寸位に敷き之に挿す可し而して挿床を過濕ならしめざる

様注意し又挿したるものは始め弱き光線に當て新芽の發育するに至りて漸次強くし乾燥せる風に當てざる様注意す可し而して其挿木箱には簾油紙障子或は硝子板に石灰又は白ペンキを塗りて覆ふときは此等の目的を達す可し又挿木を行ふには大なる素焼鉢の底に小砂利を充たし尙ほ小き素焼鉢の底を密閉して右の大鉢の中央に据へ小鉢と大鉢との間に挿木用砂を入れ小鉢には水を常に充たし置くときは砂は常に適當の濕氣を保ち他の挿木箱の如き日々灌水の手数を省くことを得而して挿木用の砂は鹽分なき川砂にして泥土の混入せざるものを宜しとす最も挿木用として壤土腐葉土其他のものを混入することあるも是等は一般に用ひざるを宜しとす尙ほ挿木の詳細に就きては各説に於て述べべし

第九項 苗の移植及其時季

苗を移植するには先づ目的の圃地を耕鋤して膨軟ならしめ肥土及腐熟せる厩肥等を鋤き込み整地をなしたる後曇天の日若しくは夕刻根を傷けざる様移植を以て床土と共に抜き取り移植鉢移植棒等を以て穴を穿ち植込み灌水をなし根と土壤とを緊着せしむべし苗を抜き取るに方りては豫め苗床に充分灌水し二三時間を経て後抜き取るを佳とす然るときは根際ねぎわの土壤乾燥せず又濕潤に失せざるが故に苗床土と共に移植す

ることを得るの利あり斯くして移植をなしたる後活着する迄簾又は適當なるものを以て日中の強光を覆ふときは結果良好なるものなり尙ほ萎ひ易き花卉は下葉或は項芽を摘取るか項上の葉を切り捨てるときは比較的早く活着するものなり而して移植の時期は地方によりて同じからざれども本葉四五枚を出せる時を以て最も適當時期となすべし

第七章 病害蟲驅除法

花卉栽培上困難を感ずるは病害の發生に遭遇することなり植物に對する害蟲は其種類非常に多く學者の説に従へば植物一種に對し昆虫五六種の存在を推定し得べしと云へり而して之が完全なる驅除法は容易に行はれざるも被害を少なからしむることには難からざるなり然れども害蟲に種々あり此の小編の盡し得る所にあらざるを以て此處には最も普通なる蚜蟲類貝殼虫類アザミウマ「アカダニ」等重なるもの二三に付記述することとせん

第一項 蚜蟲

蚜蟲には菊の蚜蟲暗黒色綿蟲白粉又は綿様のものを纏ふ「バラノアブラ蟲」(青色)其

他種々あり而して之を驅除するには青酸瓦斯燻蒸法石油乳劑灌注法其他種々の方法
あるも青葉を有するものに最も安全且つ安値に行ふことを得るは煙草の燻煙法なり
とす

(イ) 燻煙法

此方法は大は温室の如きには小鉢一鉢にも行ふ事を得るものなり其の方法は小鉢
は二三尺立方位の箱内に鉢植を入れ箱の一隅に煙草盆用の如き小さき火入に僅か炭
火を入れて煙草の葉莖或は粉煙草の何れにても小許入れ燃へ上がらざる様壓し付け
箱を密閉して約一時間経過せば蟲は大抵墜落或は半死の状態となり居る故之を拂ひ
落す可し又温室の如き廣き場所にては火鉢或は空鉢等に僅かの炭火を入れ前記の煙
草を燃へ上がらざる様注意し燻す可し其使用量は一定せざれども温室内の見透し出
來ざる程度に燻煙を行ふこと三十分間位にして可なり燻煙の際には煙草を用ふる場
合に限らず凡て植木鉢の乾燥せるもの及葉莖の表面に水分なき様注意せざれば植物
を損傷することあり而して其施行時期は夜間又は曇天を可とす此の方法は蚜蟲の外
「アザミウマ」にも有効なり
尚ほ左に他の驅除法二三を舉げて参考に供せん

(ロ) 除蟲菊石鹼合劑

調合法 石鹼一匁乃至二匁除蟲菊粉一匁乃至二匁水一升
調製法 水一升到石鹼の薄く削りたるものを投じ石鹼は「アイボリー」の如きを良とす
煮沸溶解したる時は之を別器に移し之に除蟲菊粉を混じ其儘一晝夜間密閉し置き使
用すへきなり尙施用の際は粗布を以て濾過し噴霧器の筒口閉塞の虞れなき限り除蟲
菊の混在せる儘灌注するを効多しとす又花を有せざる植物は「バケツ」其他適當の容器
に合劑を入れ其中に浸して軽く揺るときは蟲を洗ひ落して死に至らしむ然れど何れ
の場合にも殺蟲後は葉上より灌水し附着せる藥劑を洗ひ落すことを忘るべからず
此の合劑は石鹼にて蟲の氣孔を閉塞し除蟲菊にて完全に死に至らしむるが故に蚜蟲
の外「アザミウマ」貝殼蟲の幼蟲蝶蛾類及其幼蟲喰葉甲蟲類の幼蟲等にも効あり

(ハ) 煙草石鹼水

煙草六匁を熱湯五合に浸し之れに石鹼十二匁を混じ之を十五倍乃至三十倍に稀釋し
て用ふ

(ニ) エキスルオール驅蟲劑

本劑は多少高價なれども極めて有効にして灌注用燻蒸用等種々の用法に應ず可く製造販賣し使用法又簡易にして極めて重寶なる驅蟲劑なれば前記の驅蟲劑を自家に於て製し得ざる者は之を買求めて試用するを良とす尙ほ本劑は貝殼蟲の幼蟲アザミウマ蝶蛾類等に有効なり

第二項 貝殼蟲

貝殼蟲にはマル貝殼蟲、姫貝殼蟲、長貝殼蟲、ビハノマルカイガラ蟲、其他種々ありて小なるものは注視するも尙熟練せざれば蟲か塵かを判別し難きものあり而して此等の被害最も多き植物は梅松其他の盆栽並に花卉の鉢植等にして其の枝梢に附著し「焦茶色」「藍甲色」白粉を分泌せるもの等種々あり樹液を吸収し被害植物を衰弱枯死に至らしむるは盆栽花卉を弄ぶもの、常に經驗するところなり
驅除法としては青酸瓦斯燻蒸法最も有効なれども其作業上特別なる熟練を要するものなるが故に之を省き此處には重に石油乳劑を使用し驅除せられんことを望む最も貝殼蟲の幼蟲及極小なる姫貝殼蟲等には前記の除蟲菊石鹼合劑にて可なるも成蟲には其効なし藥劑は一方に於て有効なると共に他に於て又多少有害なる作用をなすものなれば害蟲の少なき際は之を拂ひ落すか又は適當の方法にて植物を傷つけざる

様驅除するを最も宜しとす

(イ) 石油乳劑製法

調合量 石油一升 石鹼十五匁 水五合

或は 石油一升 除蟲菊粉二十匁 石鹼十五匁 水五合

但し除蟲菊を用ふるときは石油一升到除蟲菊粉二十匁を投じて能く振盪し二晝夜間密閉して一日數回宛能く振盪し充分除蟲菊の有効成分をして石油中に浸出せしめたる後之を布にて濾過し除蟲菊の殘滓を去りて乳劑を製す

製法 石鹼を薄く削りて水或は湯に投じ煮沸溶解せるを度とし又別器に石油を入れ

發火せざる様注意して温め(石油は燈火用を宜しとす粗惡なるものは植物を損傷し易

し)湯氣を生ずるに至り(攝氏七〇度)此兩液を合併して手早く噴霧器用唧筒の類にて

劇しく液を混合し約五分間位繼續牛乳狀となり稍々粘氣を帯ぶるに至りて休止すべ

し斯くして出來上りたる液を原液と云ふ之を使用する場合は原液の三倍位の温湯を

攪拌し乍ら徐々に注ぎて漸く稀釋せしめたる後水を攪拌しながら加ふべし而して其

稀釋倍數は大概次の標準に依るべし然れども極めて幼嫩なるか又は軟弱なる植物に

は使用せざるを可とす

石油乳劑 冬季葉のなき梅の盆栽の如きものには三乃倍至七倍夏季は十四、五倍とし成る可く葉にかけざる様筆の如きものにて塗り付くべし

除蟲菊加用石油乳劑 冬季二十倍夏季は四、五十倍として用ふべし

石油乳劑は他の蟲類にも著しき効あるが故に序を以て左に適用害蟲及稀釋倍數を述べれば

石油乳劑	除蟲菊加用石油乳劑
綿蟲類	三十倍乃至五十倍
螟蛉類	四十倍乃至五十倍
甲蟲類	二、三十倍
喰葉甲蟲其他の幼蟲	三、四十倍
蚜虫類	五十倍乃至七十倍
アザミウマ類	五十倍乃至七十倍
椿象類	二十倍乃至四十倍

石油乳劑を使用するに當りて注意すべきは已むを得ざる場合の外開花期に撒布を避け撒布するには可成噴霧器を使用し液に塵芥の入らざる様注意すべし又原液は永く

貯へざるを良とす稀釋したるものは其日に使用を了すべし又乳劑の良否を検するに稀釋したるものを「コップ」の如きものに入れ透し見て液面に分離したる石油の浮び揚らざるものを効力ある良乳劑となす

第三項 アザミウマ

「アザミウマ」の幼蟲は體甲色を呈し成蟲は褐色の羽を有す體長五六厘位にして動作敏捷なり幼蟲成蟲とも花瓣葉等の養液を吸收し被害部は白色の小班點を殘し美觀を損はる「アザミウマ」は乾燥したる空氣中に繁殖し易く蔬菜園に於て葱の綠色を失ひて稍白色を呈し後に黄色となる枯葉は概ね「アザミウマ」の害なりされば此虫の繁殖したるときは葉の表裏に屢々噴霧器或は如露にて水を灌注し尙前記の藥劑を用ひて驅除す可し

第四項 アカダニ

「アカダニ」も又「アザミウマ」に等しく乾燥せるところに繁殖す其形は蜘蛛の子の如くにして極めて小さく重に赤色なれども黄白色のものあり之亦動作極めて敏活にして葉裏に寄生し被害甚なるものあり被害部は光澤ある白色を呈し無數の細き糸を張れるを見る之が驅除法は除蟲菊加用石油乳劑及除蟲菊石鹼合劑或は石鹼溶解液を灌注

すべし又「エキスルオール」驅除劑に浸し後清水にて洗滌するも効あり
要するに害虫發生したるときは出來得る限り徒手捕殺し止むを得ざる場合に於て藥
劑を使用する様なすときは植物の美觀を保つ上に遺憾なきを得ん

第五項 病害

花卉の病害に罹るもの又甚だ多し彼の薔薇菊鳳仙花其他の葉上に白粉を振りかけた
るが如き「ウドンコ」病翠菊の立枯病菊の葉に於ける黒斑病等は皆吾人の常に目撃する
ところなり其他花卉の種類に依り病害を異にするものあり其數極めて多し之が驅除
豫防法は重に藥劑によるものにして普通斯業者間に使用せらるゝ藥劑は「ボルドウ液」
「フオルマリン液」硫黃華等とす尙ほ「ボルドウ液」に種々の調合法あれども大同小異なれ
ば此處には一種のみを記載することとせり

(イ) ボルドウ液の調製法(別名石灰ボルドー液 又ハ硫酸銅石灰液)

調含量 硫酸銅 百二十匁 硫酸銅及生石灰ノ溶解ニ用ル水ノ全量ヲ呼ヒテ二斗式或ハ
生石灰 百匁乃至百二十匁
水 二斗乃至四斗 三斗式ボルドー液ト稱ス

材料の選擇

硫酸銅 普通工業用のものにて可なり

生石灰 善良なるものを用ふるときは前記百二十匁の硫酸銅に對し百匁内外にて充

分なるも粗悪なるものなるときは百二十匁位を要すべし但し風化せるものゝ混合品

は用ゐざるを可とす

水 清良なるものを選びこと勿論なり

調製法 先づ大小三個の桶を準備す桶の大きさは調製せんご欲する「ボルドウ液」の量に

依て異なれども一個は其全量を他の二個は其半量を容るに足るものを要す先づ一個

の小桶に熱湯二升を盛り硫酸銅を木綿袋又は小籠に入れ之を湯に吊し置くときは硫

酸銅は暫時にして溶解するを以て此時八升の冷水を加へて全量一斗となす又別の小

桶に生石灰を入れ少量の熱湯を注ぎ生石灰の充分に粉碎するを待ち冷水を加へて全

量一斗となし能く攪拌すべし斯くて硫酸銅及生石灰を溶解し終りなば大桶の上に

細目の笊又は篩を置き兩液を同時に濾過しながら移し込み能く攪拌す此混和液は即

ち二斗式ボルドウ液にして少しく粘氣ある蒼色を帯び直に施用すべきものなり而し

て硫酸銅及生石灰を溶解せしむるに冷水を用うも可なれども熱湯よりも溶解時間多

く掛るものなり又「ボルドー液」の良否を檢するには小刀の磨き上げたるものを之に

浸し銅の附着せざるを可とし若し銅の附着することあるときは石灰液を銅の附着せざる程度迄注加すべし又青色試験紙を浸し若し赤變するときは反應なきに至る迄生石灰液を注加すべく赤色試験紙を浸し甚しく青變するときは淡青色となるまで硫酸銅液を注加すべし

「ボルドウ」液は調製後數時間を経過するときには沈澱を生じ甚しく効力を減ずるにより入用の都度分量を計りて調製するを良とす尙ほ「ボルドー」液を撒布するには噴霧器を用うるを可とす

「ボルドウ」液は花卉各種の病害に用ひて効あり草花類及樹木の若葉を有するものは三斗乃至四斗式樹木類の落葉後及發芽前に於ては二斗乃至三斗式を用ひて宜し球根類の貯藏中に腐敗するを防ぐ爲め貯藏の際之が消毒に用ひて効あり又「ボルドー」液一斗に對し亞硫酸銅五匁を混合するときには喰葉虫類を驅除することを得るものなり

(ロ) フォルマリン液

「フォルマリン」液は病害豫防として苗床或は鉢植用培養土又は球根類の消毒に効あり而して苗床及培養土を消毒するには「フォルマリン」原液を水にて倍量に稀釋し通常一坪に付二合乃至五合を噴霧器にて撒布し土壤を充分攪拌して後に之を均らし表面を

固め莖の如きものを以て二三日間蔽ひ其後屢々土を攪拌して「フォルマリン」を發撒せしめ凡そ十日乃至二週間を経て初めて花卉の栽植をなすべし球根類を貯藏又は移植するに際し五十倍液に五分乃至十分間浸漬するときには腐敗病を豫防し得べし

(ハ) 硫黄華

硫黄の粉狀に製したるものを地表又は葉上に撒布するときには「ウドン」粉病の驅除豫防をなすことを得
葉上に撒布する場合は葉面の緑色を認め得るを程度とし多量を撒布すべからず若多量に過ぐるときは硫黄より發散する亞硫酸瓦斯にて損傷することある可し尙硫黄は攝氏の二十五度以上の温度に觸るゝ場合は亞硫酸瓦斯を發生し殺菌作用をなすものなり

第八章 花 壇

一口に花壇と稱するも其施行方法によりて多くの種類に分たる然れども此處には其大體に就て述べん
種々の形容即ち櫻花菱形其他種々の形狀を地面に劃し之を耕し肥土を入れ裡に單色

其他種々の色彩を有する花卉を取合せ植付くるものを模様花壇と云ふ而して花壇の中央に薔薇其他風致ある丈高き花卉を配置して美観を添ふるもの等種々あり又草丈極めて低き花卉を以て開花後恰かも毛氈を敷けるが如き色彩に富む様植込むものを毛氈花壇と稱し壁塀又は樹木植込の前面或は造營物の周圍通路等の兩側其他風致上害あるものを隠蔽する爲めに植うるものを境栽花壇と云ふ其植込方法は眼界遠き後方に丈高きものを植へ漸次前面に低きものを配置する等は何れの花壇にも通用すべき條件なり然れども同一の花卉を一行とするよりは多少不揃ひある様又花色も種々配合する様なすを見榮ありとす

第二編 各説

第一章 一二年生花卉

此花の原産地は濠州にして菊科に屬する一年草なり花は恰も貝細工の如くして開花中刈取り倒に吊して蔭乾となすときは冬季に至るも尙花の原色を失はずして造花を見るが如し草丈一尺乃至三尺に至る春蒔は四月苗床を作りて下種し四五葉を發生して花壇に植込むときは六月下旬乃至七月上旬より晩秋まで絶えず開花し光澤ありて好觀なり左の數種に分たる

- (イ) アクロクリニユーム 和名姫貝細工草丈一尺五寸花色白桃紅色等あり花期六七八月
- (ロ) アレモビユーム 和名カイザイク草丈一二尺葉莖に軟毛あり赤黄白等あり
- (ハ) ヘリクリサム 和名ムギワラギク花色黄紅等草丈三尺
- (ニ) ローダシテイ 和名矮性貝細工草丈八九寸花色白赤開花期六七月

三三
鶏冠草は苧科に屬し丈高きものと矮性のものごあり紅黃深紅淡黃金色あり又洋種として「コックスコンブ」と呼ぶものあり其高さ六七寸にして鉢植に適し花壇等に植付くれば其艶麗實に目の覺むる思を起さしむ春蒔一年草なり

三、アマランサス 和名雁來紅 仙人殻

アマランサスは苧科に屬し葉及花とを兼ねて觀賞するものごあり雁來紅は葉に紅黒紅黃其他の色を顯はして甚だ美觀なり尙本種は適當に灌水するときは丈六七尺に伸長し長大なる葉を生ず壁塀等に接して植うるに適し矮性種は模様花壇其他に適す仙人殻は數尺に達する紐狀の花穂を出し其色暗紅色なり春蒔一年草に屬す

四、コスモス 和名オホハルシヤギク 九十九草 秋櫻

此花は菊科に屬する丈夫なる一年草にして丈五六尺以上に達し其枝極四方に伸ぶ優に六尺四方を蔽ふものあり早生「コスモス」は丈二三尺に生長し苗床に仕立て或は花壇に直播するを得色に白黃紫赤桃色等ありて一樣ならず花壇の中心に植へ或は壁塀隠しとして植付け又切りて挿花に適す花は秋の末に至るも優美なる大花を開く「コスモス」の種子は霜害の爲め採集し難きことあるを以て奥地等にありては開花中充分霜除の設備をなし之か目的を達するに心掛くべし苗の仕立方は春季温床或は温室内に播

種するを良とす同一地にて種子を採收し之を蒔くこと多年に亘るときは次第に開花期を早むるに至る特性あり早生種は七月初旬より開花し左の品種あり

- (イ) 大形紅白淡紅種々あり
- (ロ) タロンタイク橙黃色
- (ハ) アトリリーサンマー、フローリング花一樣ならず七月頃より開花す
- (ニ) ドワーフ、エロー、矮小草丈一尺五寸位黃金色星形の花を開く

五、花筈草 洋名コキア

花筈草は藜科に屬し莖葉共に筈草に似たり性質強く春四五月床蒔となし三四寸に成長せば花壇鉢植花園の縁植となすに適す其形丸く青々として愛すべく秋季には紅葉して美觀を呈す

六、翠菊 洋名アスター

此花は菊科の二年草にして種類甚だ多くアルプス山に多年生のものを産すと云ふ一重又は八重咲あり色に紫絞白鹿の子桃色等種々ありて鉢植切花等に適し到る所に觀賞せられ栽培亦容易なるを以て斯の如き花を廣く植付くるときは又一種の興味を加ふべく徒らに珍種を望み奇を樂むに優ることあるべし然れども近年到る所に翠菊の

立枯病に罹り元氣よく生育中のものも根元黒くなり急に萎縮して枯死し折角の丹誠も水泡に歸することあり之が蔓延は殊に甚だしく其病菌は年々残りて寄生するが故に此病害を受けたるを發見したるときは直ちに抜き取り焼き捨て尙其附近の土中には石灰を混入し三四年間は同一場所に連作せざるを宜しとす又止むを得ざる場合は塵芥草根等其他の燃料に火を點じ其上に被害附近の表土を置き蒸し焼きするを宜しとす

尙ほ優良なる品種を揚ぐれば次の如し

- (イ) ブーケアスター 矮性にして多くの花を附けるものにして模様花壇に宜し
- (ロ) クリサンセマム、アスター 大輪にして花瓣は外方に巻旋せるもの
- (ハ) コメツト、アスター 大輪にして花瓣は扁平外方に曲り中心の瓣は稍短かくして内方に曲れり
- (ニ) タラウン、アスター 花形極大にして花瓣巾廣く長し
- (ホ) ビオニー、アスター 大形なる花にして花瓣皆内面に抱へ芍薬の花の咲き初めに似たり

七、木犀草 洋名ミニオネット又レセダ

此花は丈一尺乃至一尺五寸位の木犀草科一年草にして花としては餘り價値なきが如きも只其香氣馥郁として木犀に似たり歐米人の嗜好する所なり仕立方は四五月の候花壇或は鉢に種子を直播するも可なり苗床に蒔きたるときは發芽後軟弱ならざる様屢々間引き二三寸の距離を興へ置くへし窓函栽培に最も適するもの一なり左の數品種あり

- (イ) ホワイトペール 純白種にして最も良好なる品種なり
- (ロ) ビスマーク 大花石竹色鉢植に適す高さ一尺二三寸
- (ハ) ゴールデン、クキートン 黄金色なり
- (ニ) ラージフラワー 穂花の抽出良く自由に成長す高さ二尺
- (ホ) マツチエート 壯健良好の品種なり
- (ヘ) マツチエート、ゴールデン 濃黄色なり

八、サルビグロツシス

此花は智利國の原産にして四五月頃花壇に直播を可とするも苗床に下種し二三寸に至りて移植するも良く開花す草丈二尺以上に成長し四五本の枝を分岐する玄參料一年草なり花に斑點紋り飛白等にて種々の色彩に富み朝顔花に似たる容姿艶麗の珍花

なり又切花として比較的永く保つが故に室内裝飾に好適す

九、立藤 一名昇藤 洋名ルービナス又ルービン

此花は北亞米利加及地中海近傍に自性の耐冬多年生及一年生にして莖科に屬す葉は八ツ手の如くして小に葉柄短く花は藤を立てたるが如く直立す花色は藍白黃紅其他種々あり高さ二三尺に生育し客姿優美なり多年草は秋蒔とし冬季は藁炭俵等の如きものを覆ひ四月頃となりて取除くべし一年草は四五月頃花壇に直播又は苗床に下種苗を仕立つべし

一〇、フロックス 和名キキヤウナデシコ又オイランソウ

此花は花荵科(ハナシノブ)に屬し一年草と多年草とあり其形に桔梗形と星形とありて星形は「スターフロックス」と稱し桔梗形を「フロックスドラモンドー」と云ひ和名キキヤウナデシコと稱す尙多年生フロックスを草荻竹桃と云ふ近來各地に愛玩せられ種類により高さ四五寸より二三尺内外に伸び花壇の周圍境栽花壇模様花壇等に植ゆるに好適す色に紅白黃紫赤樺色絞其他各色あり春秋二期播種することを得越冬せしむるものは藁の如きものを覆ひ防寒す可し其主なる品種左の如し

(イ) コクシニア 深紅色

(ロ) アルバ 白色

(ハ) アトロコクシニア 濃緋色

(ニ) レオボルデイ 色種々ありて石竹の如し

(ホ) オキユラタ 白及赤

(ヘ) ローゼア、マーモウータ 縞

(ト) エサベリナ 黄色

(チ) ダイアナ 雪白色

(リ) アトロブルブレア 赤紫色

其他白赤淡紅藍色等種々なる混色を作り一品種として其數多し此花は種子にて繁殖すべく其採收に注意せざれば乾燥して飛散するを以て好期を逸せず採收すべし春四五月下種せば夏秋の間開花して燦然たる麗色を呈すべし多年生は春分株にて繁殖するを可とす

一一、花罌粟 洋名ポピー 漢名米囊花 御米象殼

此花は罌粟科一二年生草花なり一年生も秋下種せば二年生となる何れも夏季艶麗なる色彩に富む鬼罌粟雛罌粟牡丹罌粟等あり又佛國産白罌粟は阿片を製するに適す

大輪中輪小輪あり又一重咲及八重咲あるは皆能く人の知る所にして移植を忌むが故に直播となすべし虞美人草は雛罌粟にして古昔楚王項羽の寵姫虞氏の墓前に咲出でたるを以て虞美人草の名を付せりと云ふこは一年にして開花せしむるを得べく其莖葉細く草姿短かく花又小なり秋期花壇に蒔付け發芽後相當の保護をなせば翌年良好の開花を見る而して其嫩苗は食用に供するを得と云ふ

金鶏草は菊科二年草にして一重咲黄金色にして枝極を分岐して大輪なるあり小輪なるあり高尚優美の花を開き切花に宜し花壇の後に植うるに適し耐寒性なり秋蒔とするを可とす

一三、美女櫻 一名花笠草 洋名パーベナ

南米ブラジルの原産にして馬鞭草科ウマツヅラの一年草なり種子にて播殖するを得べし温室を有するものは秋新芽を挿して蕃殖し春花壇に植へ種子は四五月頃播き苗仕立にして移植するを可とす草丈一尺餘株間約二尺に植へ置けば成長して分岐し更に新枝を生じて横臥し花壇の全面を覆ふ上品にして晩秋に至る迄開花し割合に霜に強く花壇には欠ぐからざるものなり其花形小花集りて笠状をなす其色種々あれど

も黄色のものなし其品種を掲ぐれば

- (イ) セルレア 青色草丈一尺
 - (ロ) カシンデデツシマ 純白色草丈一尺
 - (ハ) カンデデツシマ、コンバクタ 純白色草丈六寸
 - (ニ) コンスネアコンバクタ 深紅色草丈六寸
 - (ホ) デフキアンス 深紅色草丈一尺
 - (ヘ) ベノザ 紫色にして最も矮性草丈六寸
 - (ト) レモン、センテッド 紫色温室向
- 一四、タゲテス、又マリゴールド 和名萬壽菊 孔雀草 コウワウソ

此花は菊科に屬する一年草にして草丈七八寸より高きものは二尺七八寸に至る四五頃苗床に蒔き三四寸にして花壇に定植すれば土用後より晩秋に至る迄開花し霜に強く一二回は之に遭ふも保持するを得べし此莖葉は一種嫌悪すべき臭氣あるも外國に於ては病人の熱氣を散する爲めに利用すると云ふ而して「アフリカン」系統のものは和名萬壽菊「サンリクタワ」等の名稱ありて大輪なり又「フレンチ」系統のものは孔雀草コ

ウツウツ等の名稱を附しあり花は小輪なり

一五、ハルシヤ菊 洋名コロオブシス

菊科にして一年草又は二年草なり春秋二季に播種することを得花は黄赤褐色を以て種々に彩り莖の高さ二三尺にして晩秋まで絶えず開花し切花に適す此花に次の如き品種あり

(イ) アトロサングイニー 深紅色草丈三尺

(ロ) コロナタ 黄色にして高さ二尺

(ハ) ドラモンドー 中心褐色にして黄色の花なり草丈二尺

(ニ) マアモラタ 黄縞ある花を有す草丈三尺

(ホ) ニグラスベンオサヒロード 深紅色なり草丈二尺

(ヘ) チンクトリヤ 中心暗色にして黄なり草丈三尺

一六、百日草 洋名ジネニア

一年草花にして草丈二尺五寸位伸び葉腋より枝を出す毎枝の先端に一つ宛の頭状花を開く菊科植物なり花に單瓣重瓣あり種類多し種子により繁殖すべく苗仕立方は四月下旬より五月中旬迄に苗床に下種するを普通とすれども季節遅れたるときは直播

となすを妨げず栽培容易にして土用後より花開き晩秋に至る其花期永きを以て其名あり卓上裝飾に適す草花なり

一七、金盞花 洋名カレンデユラ

菊科二年草花にて草丈一尺五六寸莖丈夫にして各枝の頂上に花を開く種子は春花壇に直播するも好し鉢植として寒中凍らざるときは能く花を保つべく至て霜に強し初雪一二回あるも枯凋せず苗は能く越冬す其品種は種々ありて一種の強き香氣を有す

(イ) メートル 大輪重瓣赤黄色なり

(ロ) オレンジ、オプ、キング 重瓣深橙黄色なり

(ハ) プリンス、オプ、オレンジ 白き條ある橙色にして頗る華美なり

(ニ) プルピアリス 大形純白色なり

一八、天人菊 洋名ガイラルデア

此花は一年生及二年生ありて菊科に屬し如何なる土地にも適し草丈一尺乃至二尺に達す種子を苗床に下種して苗に仕立て後移植す宿根するものは秋蒔とすべし花は夏より秋迄開花し左の品種あり

(イ) グランデプロラ 强健の種類にして色に深紅と黄色とあり

(ロ) アンブリオドン 一年草赤血色を帯ぶ
 (ハ) ビクタ 深紅色と黄色
 (ニ) オーロラ、ポリアリス 黄金色深黄色及白色
 (ホ) イルミネーション 赤色緑黄色
 一九、ヘリアンサス又はサンクセラワー 和名日向葵
 「ヘリアンサス」ハ菊科に屬し北亞米利加に野生する一年草及多年草なり高さ七八寸より八九尺迄に達するものあり花は黄色紫赤色等にして一重八重丁字咲及蛇の目咲の別あり其種子は脂肪多きを以て油を搾り又調理に用ふと云ふ冬季間鶏の飼料に適し丈高きものは壁塼側等に植て風致を添ふべく其他各高さに應じて寄植花壇芝等の縁取りに用ゐるを得四五月頃播種し發芽後間引を行ひ苗を強健に仕立て本葉四五葉を生じたる頃植出すべし品種左の如し
 (イ) シルバリーリープト 銀色の葉花黄色小にして心は黒く草丈四尺
 (ロ) カリフォルニカス 大形花八重草丈五尺位
 (ハ) ダブリユードワーフ 花八重草丈二尺五寸
 (ニ) スキートバイオレット 大花にして紫赤色

(ホ) ドワーフミニアチユアー 單瓣花黄金色草丈一尺内外
 (ヘ) ジャイアント 極大花黄金色一重八重等あり高さ八九尺
 二〇、パンジト 和名遊蝶花又三色スミレ

パンジトハ堇々菜科の一年生草本にして春苗床に下種し四五葉を發生して鉢花壇等に植ゆるときは夏季可愛らしき胡蝶に似たる色彩を帯びて開花す種子は極めて落ち易く且つ結實期長きを以て其期を誤たず採收すべし此花は頗る美麗なるを以て人に賞觀せられ品種多きものなり一花の中に黄紫白の三色あるを以て三色スミレの名あり近時人工媒助法により更に種々の變種を現出するに至れり此花卉は日當り強き庭内に好みて生育し鉢植として室内を飾るに適し乾燥を忌むを以て灌水に注意すべし
 二一、王不留行 洋名サボナリヤ
 石竹科の一年草なり草丈三尺に達す園地に直播とし發芽せば適當の距離に間引くを可とするも苗仕立となし移植するも可なり此花成長遅きも花軸を出す頃に至りて急に成長し枝極を分ちて開花す
 二二、白粉草 洋名ミラピリス
 强健なる一年草にして紫紫茉莉科オシロイに屬す丈三尺に伸び枝は四方に張り莖は節

高く紅色を帯べるものあり花色に白、紅、黄、絞等あり子實は外皮黒く中に白粉を藏すに依りて此名あり春季園地に直播し生育するに従ひ間引くを適當とするも苗仕立となりし移植するも能く開花す

二三、金魚草

洋名アンチルヒムム又スナツブドラゴン

玄參科、コマノハグサの草本にして草丈一尺乃至二尺五寸位、丈夫にして葉は長楕圓形又は披針形にして對生す、春四五月苗床に播種して二三寸に成長の後移植せば七月頃より晩秋まで開花し其株に多少の防寒を施すときは翌年も亦早くより開花す其種子極めて小なるが故飛散せざる様注意して採取すべし其品種左の如し
(イ) マジュス、草丈二尺程なる變種を集めたるもの
(ロ) タリムソン、キング、深紅色に富む草丈六寸
(ハ) クキン、オブゼノールス、純白色草丈一尺二三寸
(ニ) エロー、クキン、黄色草丈六寸
(ホ) トムタアム種、草丈六寸花色種々あり
二四、サルビア、和名サルビヤ

唇形科に屬するものにして二年草、二年草の別あり一年草は坊間普通に觸目するもの

にして花は小さき筒形をなし草丈二尺乃至三尺に伸び濃藍色、銀白色又は深紅色等あり施肥灌水とも充分なるときは「スプレンドレス」種の如き葉は優美なる光澤を表はし花穂は尺餘にも及びて七月より秋末迄絶へず開花し極めて優麗高雅な花なり其品種は

- (イ) アルゼンテア、銀白色にして草丈六寸
 - (ロ) コクシニア、深紅色にして草丈二尺
 - (ハ) パテンス、深藍色にして草丈二尺
 - (ニ) スプレンドレス、深紅色にして草丈二三尺大花サルビヤとして一般に栽培せらる
 - (ホ) スプレンドレス、グロラー、オブ、スタツトガアト、草丈二尺位深紅色秋の花として殊に温室仕立に適當せり
 - (ヘ) スプレンドレス、コンバクタナ、深紅色にして矮小なり
- 此花は雨量多きとき或は施肥不足するときは結實困難なり故に多量の肥料を施し且つ種子褐色を帯ぶるに至らば随時採收して乾燥せしめ貯藏すべし然らざれば自然逸散するの虞あり之を採收して春四月下旬より床に仕立て苗を移植すべし又芽挿法に

より蕃殖することを得其法は軟かき枝を二三節或は項芽を砂挿とし花壇或は鉢植に供するなり

二五、花菱草 洋名エヌコルヂヤ又キヤリホルニヤボビー
罌粟科に屬し草丈一尺乃至一尺五寸あり花は一重八重ありて色は通常黄、白、桃色等なり開花期永くして愛らしき一年生草本なり此花は移植を忌む故に目的地又は鉢等に直播すべし種子は長き莢に生じ莢は熟して乾燥するときは破裂して種子を散亂するが故飛散せざる内朝又は夕刻風なきとき採種するを宜しとす

二六、釣鐘草 洋名カンパニユラ

桔梗科に屬し一年草又は多年草にして丈夫なる草花なり花に一重八重あり色は白、紫、桃色等あり切花に適す春秋床蒔となし稍々成長したる後目的地に移植す開花までに二三回水肥を施すべし翌年六七月頃より開花す冬季は防寒手當を施す必要あり本種に屬するものにて滿洲に野生するものあり彼の「ホテルブクロ」「ヤツシロソウ」等の類なり

二七、朝顔又牽牛花 洋名モーニンググローリー

朝顔は施花科(セルガホ)に屬する一年草にして我國に於ては最も廣く栽培され垣根鉢

植等となし室の内外を飾るに用ひらるれば今や其栽培品種は數千種に上り外國にも「アサガホ」或は「モーニンググローリー」の名のもとに盛に輸出培養さるゝに至れり又滿洲に於ても近來之が栽培者多く同好者間之が品評會を催ふすものあるに至れり因て此處には初心者之爲めに其概要を述ぶるに止め詳細に就ては各自の經驗に任し又は斯道に付き詳述したる書籍によりて研究せられんことを望む

分類 朝顔は栽培上より其花形により筒咲(又平咲と云ふ)即ち花は大體に於て漏斗状をなせるものと變物と唱へ筒咲を脱して種々の形に變化せるもの、二種に區別することを得筒咲の中にも丸咲、八重咲、孔雀咲とも云ひ雄蕊の細き花瓣に化せるもの、切咲(花瓣の一枚宛に切れたるものにして細く多數に切れたるを細切咲と云ふ)六曜咲(六個の花弁よりなる)桔梗咲(花弁五個に分裂し桔梗形に咲く)抱咲(花弁五個に切れ各瓣別々に抱へたるもの)又五手舟とも云ふ)茶臺咲(筒の内部に折れ込みて茶臺形をなせるもの)にして又車咲とも云ふ)變り物には牡丹咲、牡丹咲にも種々あり要するに雄蕊或は雄蕊雌蕊共に花瓣に化し大牡丹形、采咲、牡丹臺咲、牡丹三段咲、牡丹亂、牡丹其他種々の變化に富む)獅子咲(獅子咲は一體に花瓣固く花瓣及雄蕊雌蕊共種々の變化をなし花瓣或は花瓣の外に筒状角状鬚状の花弁を生し又蕊は風鈴鳥頭形筒状流星形鬚等を生す)獅子

牡丹(牡丹)と獅子咲との雑種にして最も變化に富む又葉にも其變化及名稱甚だ多く葉形によりて其花形を知り得るもの多し朝顔の培養土は甚だ六ヶ敷説を立つる人ありと雖ども到る處に於て同様の土を得ること甚だ困難なり要するに肥料分と腐熟したる有機質を含み而して排水可良なる土壌を用ふるにあり此要件の下に可成前年の夏より準備し置き春季細目の篩に通し使用するへし

苗を仕立つるには露地の苗床に播種するよりも五月上旬平鉢或は箱に砂を入れ播種すへし種子は其發芽部の皮を切り朝顔には石種とて皮を切らされは發芽する能はざるものあり水に浸すこと半日乃至一日にして前記の砂に播き其上に砂を二分位覆ひ硝子板を載せ日當りよき所に置く可し場所によりて二三日乃至一週間位にて發芽す而して其種子の間隔は發芽後乳葉の相接せざる様下種す可し移植の時は發芽して乳葉の丈夫になりたる頃即ち心芽の顯はれんとする頃三寸鉢に前記の培養土を盛りて移植し元氣回復するまで弱き日光に當て漸次直射せしむへし根は充分發生して鉢の底穴より多數出つるに至り五寸乃至六寸鉢に移し其間常に灌水及施肥に注意すへし乳葉の際に於ける移植期は早過ぎるとも晚れざる様なすへし灌水法に關して

は朝顔に限らず凡ての花卉には井水道流水等を其儘使用するの不可なるは屢述へたるか如し然れば朝顔に要する水も亦汲置きの水又は雨水を使用すへし而して其灌水は成る可く早朝葉にかゝらざる様充分に灌水夕刻は給水多量ならざるを良とす何となれば前にも述べたるか如く夜間水分多量なるときは蔓の伸張速かなるか故に草姿を亂すの虞あれはなり又曇天も水を控へ甚しく凋れざる程度に灌水へし然れどもこは開花前の灌水法にして開花するに至らば夕刻と雖も充分灌水し花の艶大なるものを咲かしむる様なすへし施肥法は凡て稀薄なる水肥となして施すへく菜種粕大豆粕人糞鳥糞化學肥料何れにても可なり其内化學肥料を除くの外は充分醱せしめたるものを水に溶き用ひ決して新らしき塊狀粉狀等の儘施用すへからず之か施用は一週間に一回位にて可なるへきも培養土の肥料分を多量に含めるときは少く使用し又葉色の充分出さるときには施用回数を増すへし其他花卉の種類により施肥の加減を要するものにて生育状況により觀察すへきものとす摘込法は變りものにして蔓の伸ひるものには鉢内に丸架梯子架其他種々の方法にて支柱を興ふるを可とするも其他は本葉三四枚出たるとき二枚を残して摘み又伸ひたるときは二枚宛残して摘むこと數回なるときは丈低くして大輪を得又斯く摘むこと二回位にて懸崖仕立てと

なすも可なり然れども灌水及施肥法に注意するとき葉を小さく又草姿短かくして
 數條の枝を出し早くより多數の花を附けしむることを得變物の種子は變物の系統を
 受けたるものにして例へば其種子百粒播種するとき其内より多きは四五本少
 きは一二本の牡丹咲或は獅子咲となるもの發生し其他は凡て筒咲となるなり其筒咲
 となりて實を結ぶものを親木と云ひ特徴を顯して出たる變りものを出物と云ふ出物
 は又全く出さることあり之等變り物の種子は其系統を有する筒咲より年々採取して
 蒔くものなりされは折角多量の種子を採種し之を播下して一本の出物をも得る能は
 ざるか如きは實に失望の極とす之等の失敗をなさざる様なすには最初變物の種子を
 手に入れ播種して發芽するや乳葉にて出物を識別し得るものは之を二寸鉢に取り又
 全部蕾を見されは親木と出物との區別立たざるものは採りて種し蕾の顯はるまで
 小鉢に取り置き其蕾を割りて雄蕊なきものは大抵出物にして雄蕊を有するものは親
 木と知るべし親木は一本毎に番號を符して採種用に供し斯くて翌春其番號毎に區別
 して播種し何番より出物を多く發生するかを調べ其多きもの中より發生したる親
 木より採種する様年々繼續するとき常に好成绩を得るに至る
 種子採收法は大輪は凡て蔓の中央に結實したるもの良好にして基部及尖端に結實し

たるものは一般に不良なり彼の出物を多數に得んとせば中央よりも尖端或は基部に
 發生したるものより採種すべしと稱するものあるも必しも然らず出物となるべき系
 統は其結實すべき場所を選ばす然れば凡ての種子を熟するに隨ひ漸次採收すべし
 朝顔の害虫は蚜虫と「アザミウマ」にして屢害せらるゝことあり又種々の毛虫に食害せ
 らるゝことあるか故に驅除に注意すべし朝顔の葉は大便秘所に投入するときは蛆の發
 生を防止するの効あり

二八、紫羅蘭花

洋名ストックス又マタイオラ

「アラセイトウ」は十字科に屬する一年草なり草丈一二尺内外葉は稍金盞花に似て白色
 の短毛あり花色は白紅紫赤藤色等種々あり又一重八重あり八重は實を結ばす凡て一
 重より採種して蒔くときは八重を偶發するものなり矮性種の外は施肥と灌水に注意
 するときは六月より晩秋まで開花を繼續す種子は長き莢を生ずるか故に莢の熟して
 褐色を呈するに至らば裂開せざる内採取し陰乾して採種すべし播種は四五月頃花壇
 に直播するを可とするも苗床に播種し發芽後二寸距離位に間引き四五寸位に成長し
 たるとき鉢又は園地に植出しすべし肥料は水肥を屢々施すべし

二九、金雀花

洋名シテイス、スコバリユース

金雀花は豆科植物の木本にして専ら生花用として歓迎さるゝも亦春實蒔として其年に花を見るを得花は黄色にして各節に一二個宛を着く春鉢或は苗床に播種し二三寸に成長したるころ植出す可し而して晩秋降霜の候苗を掘り取り鉢或は箱に寄せ植となし客室に入れ越冬せしめ翌春五月頃植出すへし大連旅順附近にては或は露地に越冬するを得ん

三〇、スキートサルタン

スキートサルタンは菊科一年草にして矢車草の一種堅立性なり草丈二尺位花は矢車草に比し大にして芳香あり花に白黄紫暗赤色紫赤色等あり切花に適す春苗床に播種し五六葉を発生したる頃園地に植出すへし又菱形咲矢車草も前種と同しく堅立性にして切花に適し花は大輪白水色紫等あり兩者とも普通の矢車草より強健にして優美風雨等にも倒るること少なし

三一、忘忽草 洋名ミヨヅテス又スオアゲツトミーナツト

紫草科二年草又は多年草にして花色には空色白薄紅等あるも一般に賞揚せらるゝものは空色にして草丈三四寸株張り宜しく秋蒔となすに適す春蒔となすも花は翌年の五六月頃に開花す尤も種子は六月下旬乃至七月に採取するや否や花壇に直播するも

宜し鉢又は苗床に薄く蒔き發芽後一寸位に伸長したるとき一回移植し二三寸に伸びて鉢或は花壇に植付くるも可なり鉢植となしたるものは鉢のまゝ地に埋め置き露地或は客室内にて越冬せしめ五月頃鉢より土附のまゝ抜き取り花壇或は窓函に植うるときは早く美花を開く一輪挿にも妙なり肥料を充分施すときは花付多し

三二、マガリ花 洋名キヤンデイトフト

マガリ花は十字科に屬する一年草にして草丈七八寸花色白薄紅等あり四五月頃花壇に直播して五六寸距離となし水肥を度々施すときは六月より八月頃まで絶えず開花して優美なり可成白或は紅各單色を可とす綠なす芝生の中に咲けるものなご殊に美觀を呈するものなり

三三、胡蝶草 洋名シザンサス

胡蝶草は玄參科の一年草にして草丈二尺内外胡蝶の如き奇形の花を開き千鳥草に似て稍や大なり色は紫桃白肉色空色絞等あり切花境栽培花壇等に適す種子は四五月頃花壇に直播するを可とするも又苗床に蒔き移植するも差支なし移植距離は五六寸となすへし灌水及施肥充分なるときは六月より降霜まで開花す

三四、クラーキヤ

「クラーキヤ」はロツキー山の原産にして柳葉菜科一年草なり草丈一尺乃至二尺花色白、紅紫、白、覆輪等にして花瓣は公孫樹の葉に似寄にして且つ優美なり四五月頃鉢或は花壇に直播し七八寸の距離となすべし施肥灌水等に注意するときは六月より九月頃まで絶えず開花す

五六

三五、金蓮花 一名ノーゼンハレン 洋名ナスタールエーム 金蓮花は金蓮花科に屬する一年草なり蔓性及矮性あり蔓性は三四尺に伸ひ境栽培花壇に適す又窓函釣籠用等に適す矮性は草丈一尺内外にして模様花壇花壇の縁取り及び鉢植等に宜し金蓮花の一種に「カナリークリーパー」と稱し蔓性にして花黄色なるものあり釣籠又は窓函栽培に適す金蓮花の葉は蓮の葉を小さくしたるか如く其子實と共に食用に供するを得べく花色には黄、紅、朱、緋、黒、紅、絞等種々あり種子は播種前一夜程微温湯に浸して鉢或は苗床に蒔き本葉四五葉を發生したる頃鉢或は目的の場所に植込むへし

三六、アリサム

アリサムは十字科に屬する一年草にして草丈三四寸葉は小さくして細長く株張り一株よく二尺平方の地面を覆ふ白花の小花叢生して開き優美なり花壇の模様縁取り等

に好適す六月より開花し八月に至り實を結ふ此際地上二寸位の所より刈り取り種子は乾燥して精選貯藏し残りし株には充分施肥を行ふときは日ならずして又新芽を生し降霜の頃迄絶えず開花す四五月鉢或は苗床に蒔き一二寸距離に間引きて苗の生育を謀り一寸位に成長したるとき目的地に植出すへし

三七、ゴデチア

ゴデチアは柳葉菜科の一年草にして高さ一二尺花色紅、白、桃、絞、蛇の目其他種々あり光澤ありて優美なる花なり花壇に四五月頃直播し施肥灌水に注意するときは七月より降霜まで絶えず開花す種子は八月頃より隨時採取すへし

三八、花春菊 洋名クリサンセマム

花春菊は菊科一二年草にして葉は食用萵蒿に似たり花は白、黄、紫、赤、褐色等にして蛇の目をなす草丈二三尺丈夫にして境栽培花壇の植栽に適し又切花にも適す七月より晩秋迄花を開く四五月頃苗床に蒔き四五葉發生したる頃花壇に植出すへし

三九、岩蓮華 洋名コテイレドン

岩蓮華は景天科に屬し多肉性の葉を有し乾燥地にも適す本種中の「ツメレンゲ」と稱する針狀葉を有するもの、外概ね鮮紅色の小花を開く重に觀葉を目的とす而して其葉

五七

は蓮の花を見るか如き形に發生し色は綠色淡褐色帶白綠色縞等あり種子は極小なるか故に箱或は鉢又は温床に蒔くを可とす播種して土を覆はす軽く上より押へ發芽するに及びて甚しく乾燥せざる程度に灌水し充分光線に浴せしむへし六七分に成長したる頃一二寸距離に苗床に移植し一寸餘りに成長したるとき窓函或は花壇の縁取り用等に植出すを得へし

四〇 觀賞草 洋名オリーナメンタル、グラス 觀賞草とは花に重きを置かず専ら草姿の可憐なるもの高尚なるもの其他艶麗なるもの、總稱なり此種は極めて強健なるを以て栽培容易なり其法は四五月頃庭の一隅を軟かく打起して肥土を混し充分灌水して播種し薄く砂或は土を覆ひ其上を軽く壓して蒔の如きものにて日覆をなし發芽するに及びて取除き時々灌水すべし種子は成熟するに及びて莖と共に刈取り乾燥して貯藏すべし其種類左の如し

- (イ) 霞草 洋名ジブソヒラ
- (ロ) 俄麥 洋名ブリザ
- (ハ) ホルデユーム 和名麥類
- (ニ) アヅナ、和名カラスムギ

- (ホ) アグロスチス
- (ヘ) ベニセタム
- (ト) セタリア

四一、大瓢箪 千成瓢箪 大長糸瓜

糸瓜は寧ろ蔬菜として栽培するを正しとす瓢箪と共に其蔓延長し之に結實す其狀賞すべし稀に珍形のものあり栽培法は五月中本圃に下種するを可とす早春温床に仕立つる場合は床温攝氏二十度内外のとき播種し本葉四五葉を生じて植出すべし蔓伸ぶるに従ひて支柱を施し又は柵棚等に纏はしむべし整地は先づ畑を軟かにして五六尺位隔て深さ六七寸の穴を掘り中に腐熟したる厩肥堆肥等の適量を入れ土と混じりに又土を覆ひ平にして深さ一寸位に埋め下種し發芽までは藁古蓆等を覆ひて土の乾燥を防ぎ發芽するに及びては根際之を薄く敷くべし移植したる際も亦同様すべし又凡て瓜類には瓜蠅蚜虫等の寄生甚しきことあるが故に捕殺或は藥劑にて驅除すること肝要なり糸瓜は瓜の幼なるとき食用に供し纖維は足袋の底靴の内部婦人帽子の心等に用ふ

第二章 多年生花卉

多年生花卉とは年々歳々枯死することなく枝梢を存し或は地上部は枯死するも根及地下莖は枯死することなく芽を生じ花を開き實を結ぶものにして種類頗る多し而して根及地下莖の變形して球状をなすものを一般に球根植物と稱し其種類亦尠からずと雖も水仙百合の鱗莖天竺牡丹の塊根「ゲラジオラス」の球莖「カンナ」の根莖又は地下莖を以て主なるものとす

六〇

一、アクリレジア 和名オダマキ
アクリレジアは毛茛科多年生植物にして性强健なり何れの處にも殆ど栽培し得ることなし高さ一尺内外にして葉は地に接して車狀に多數生し梢葉は圓形にして多數裂片を有し五六月頃花を開く花色碧紫色を普通とすれども白色なるものあり舶來種に至りては日本種よりも丈高く花色も亦白、黄、帶紫紅色等種々あり春秋兩季苗床に播き發芽後は時々稀薄なる水肥を施し定植す可き場所は深く打起して堆肥或は肥土を混して移植す可し永く一定所に置くときは着花少なきのみならず病害を受くるが故に適宜に分株移植せざるべからず其の時季は春秋何れにても可なりと雖も秋季之を行ふを良とす

二、デギタリス 和名キツネノテブクロ

「デギタリス」は玄參科植物にして二年草と多年草とあり草丈三四尺に達し夏間白、淡紅、紅紫色等の鐘狀花を開く秋春共直播し發芽せば一尺位の間隔を保たしむるを良とし又苗仕立として移植するも能く開花す肥料は水肥を時々施す可し境栽培壇に適す冬期は防寒装置をなす可し其葉は「デギタリス」葉と稱し最も重要な心臟藥なりと云ふ

三、カーネーション 和名麝香撫子

石竹科多年生にして花に單重兩瓣あり艷麗にして馥郁たる香氣を有し我國にては寛文八年始めて傳來し歐洲に在りては十六世紀以前より己に愛玩せられたりと云ふ鉢植並に切花として其花の美なる薔薇花に比するも敢て遜色あらざるべし丈一二尺にして一季咲及四季咲あり又花輪にも色合、形狀、大小の別あり近來は幾多の改良をなし花瓣の形狀、大小、色合、等益優美なる品種を出すに至れりと云ふ而して其繁殖法は實蒔法、挿木法、取木法等による實蒔法は鉢又は苗床に充分水を灌ぎ疎らに播種して薄く砂を覆ひ鉢蒔の時は硝子板を覆ひ苗床なれば藁の如きものを薄く覆ひて乾燥を防ぎ鉢蒔は日當りよき處に置き發芽したる時は覆を取り日々乾燥せざる様灌水し本葉二三葉を生ずる頃より稀薄なる水肥を時々施し四五葉を生じて一二寸距離に移植し三四寸に成長して鉢或は目的の場所に植込む可し挿木法は開花後或は春季古株より新芽

叢生するが故に一本宛丁寧に缺取り基部を中央より縦に六七分深さに割り米粒大の小石を割目に挟みて砂に挿す又取木法は開花後其の下部に新梢の發生せるものを横に曲げ新梢の基に切り目を入れ土を覆ひ置く可し而して「カーネーション」の枝梢伸長するに及び枝柱を與へ或は掘取りて鉢に上げ窓際温室内等に培養するときは美花生ずるに至る春蒔秋蒔共によく越冬すれども防寒の手當肝要なり肥料は時々水肥を施し種子を取るの外は落花後其残れる萼及莖を剪り捨て他の蕾及新梢に勢力を付くる様なすべし

四、ビランジ 洋名シレネ

ビランジは石竹科に屬し我内地高山に自生する多年生の草本なり高さ四五寸に達し夏秋の間花期永く美麗なり性强健栽培容易なり冬季は適當なる防寒手當をなすべし

五、天笠牡丹 洋名ダーリア

天笠牡丹はメキシコ原産菊科に屬する多年生の草本にして球根類なり近來栽培頗る流行し爲めに新種甚だ多く夏より秋に亘りて花期永く切花となすにも適す花の色非常に多く且色彩に富む現今數千種に達すと云ふ草丈四尺乃至六七尺に達す花の咲方によりて種々の名稱あり其の主なるもの次の如し

(イ) シングル

平瓣にして一重なり然れども一重にして花瓣の燃れたるものを「シングル、カクタス」と云ふ

(ロ) コルレット

此の種は右のシングルの中に稍や劍狀を成せる細瓣を生ずるものを云ふ

(ハ) デコラチーブ

小平瓣菊花形にして大輪千重咲なり花心僅か見ゆる位なり

(ニ) ビオニー

「デコラチーブ」に比し瓣の幅甚だ廣く花姿雄大にして花心顯はれ花心より小辨出

で狂へるもの多し

(ホ) カクタス

「カクタス」は各瓣細長くして針狀に燃れ花形は花瓣の直なるもの抱へたるもの、交

(ヘ) ポンポン

互に狂へるもの、一重八重、萬重、色も又種々あり花姿千態萬狀にして優美なり

(ト) ショウ

各瓣筒狀をなし花姿端正草丈概ね高からず我が國在來種にも多く見る處なり

本種は「ボンボン」と殆んど同様なれども其形状大にして筒も長く品位ある花なり
重に單色なれども時には「ボカシ」あり

右の外尚ほ多少あるも重に色彩によりて區別せらる
ダーリヤの栽培法は實蒔にありては春苗床に下種し草丈一二寸のとき一回移植し四
五寸に達して定植す塊根に依る植込は四月下旬より五月中に行ふ即ち畦巾及株間と
も三四尺位に深さ一尺以上の穴を掘り厩肥堆肥等の腐熟したるものを入れ土と良く
混和し出来得可くば前年秋に行ふを宜とす其上に少しく土を入れ後植込む可し芽の
出たる塊根を植込む場合は芽を二寸位覆土し周囲を軽く鎮壓し後水を注ぎ暫く日陰
となし置く可し植込みの頃尚降霜の憂ひあるときは鉢を被らすか藁類を蔽ふか霜除
の設備をなすを安全とす而して發芽伸長するに従ひ棒を立て倒れぬ様五六寸毎に結束する
か或は畦毎に柵を立て各枝の重ならざる様配置して結び付けたるも體裁宜しく開花
後美觀なり尚ほ一株中多數の芽を有するときは丈夫なるもの數箇を存し他は缺き取
る可し缺き取りたる芽は砂挿となし活着したる後鉢植に仕立つる時は丈低くして着
花多く且つ大輪なり挿芽法は各節より出る腋芽を二三寸位生長したる時缺き取るか
又各枝の頂芽を二三節付けて切り取り砂挿となし容易に活着するを得べし實生した

るものを定植するときは二三尺距離位に植付け支柱を與へ側芽を缺き取り一本立
となし開花後優良なるものを存し不良のものは抜き捨つるを可とす然らざれば優良
なるものを充分發育せしむるを得ざる不利あり活着後は稀薄なる水肥を月三四回施
し尚ほ發育不充分と認めたるときは其の回數を増すこととし濃厚なるものを使用す
べからず肥料は大豆粕菜種粕等水を加へて充分醱酵せしめ浸出したる液を用うべし
各枝共蕾は一二箇成るべく一個を可とす宛付け花終らば其莖の基部より切り去り下
部の丈夫なる芽を發育せしめ其他の芽を缺き取るときは又優大なる開花を見るもの
なり灌水は活着後土地乾燥の度を見計らひ行ふべく分株にて繁殖する場合は塊莖は
數個聯結せるを以て一ヶ宛必ず莖の一部分を塊莖に附着せしめて切取る可し若し莖
附着せざれば發芽することなきものなり塊莖を貯藏するには秋莖葉枯凋後塊莖を堀
り日蔭にて能く乾し土窟又は物置内に藁類の如きものを以て厚く被ひ凍らぬ様注意
して貯藏すべし尙珍奇なる品種は識別し得る様塊莖に筆の類を以て花色又は品種名
を認め貯藏すべし最も莖葉枯凋せざる内嚴寒の爲め土地凍結の惧あるときは株元に
藁其他の防寒材料にて蔽ひ稍暖かくなりし時を見計らひ堀取る可し我内地にては畑
にある儘土を厚く被ひ置ても能く越冬するものなり

六、石竹

石竹は石竹科に屬する二年生又は多年生なり根株より數莖を抽出し花には一重八花あり紅白深紅絞等種々あり色彩を有する美花を開く草丈六七寸より一尺四五寸に及ぶ下種は春秋花壇に直播又は苗床に下種す越冬には相當防寒の手當をなす可し滿洲には野生するものあり花壇鉢植共に宜し

七、鬼罌粟

鬼罌粟は罌粟科に屬し支那の原産にして多年生なり草姿雄大一株優に半坪を覆ふ其花の直徑七八寸色鮮紅色にして莖の高さ三尺餘り六月中旬より開花し始め八月に及ぶ花佳麗なり其栽培法は春秋何れにても直播となす可し蒔くべき場所は深く打ち起し堆肥其他の肥土を入れ三尺置きに三四粒宛蒔く可し

八、除虫菊

除虫菊 洋名クリサンセマム 菊科の多年草にして各地に培養するもの多し花に紅白あり白花を咲くものは葉は淡綠色にして分岐多く草丈一尺位初夏開花し花の徑一寸位なり繁殖法は下種法と分株法とありて春季之を行ふ株分は畦巾二尺に小溝を設け腐熟せる堆土又は水肥を施し一尺位の距離に植込むなり下種は直播又は床に仕立て、除草及び灌水に注意す可し

効用は花を観るの外花を摘みとりて陰干となし粉末にして蚤取粉に用ゆ除虫菊粉即ち之れなり葉は蚊遣火に用ひ又煎じて害虫驅除に供す但し紅花は其効少なし

九、アスパラガス

アスパラガス 和名石刁柏「オランダギジカクシ」 百合科に屬し歐洲南部に自生す近來我邦にても栽培盛なり其深緑なる莖葉は夏時花瓶に挿して室内に飾るときは雅趣多きものなり又秋季其深緑なる葉に赤き實を結び美觀を呈す而して其大なる莖を有するものは春時發生する軟白の嫩莖を煮て食用とするものにして蔬菜として市場に出づる貴重なものなり栽培法は初年は四月頃三尺巾の床を設け水肥及び馬糞の腐熟せるものを施し土と混和し後種子を撒播となし土を覆ひ糞糶等を敷き發芽後乾燥甚しければ灌水すべし翌春に至り畑地に移植を行ふ其法畦巾を五尺位に五六寸の淺溝を設け距離三尺位毎に腐熟せる厩肥を施し溝の中に土と混し其上に宿根を一株宛移植し土を覆ひ置く時は年内に能く繁茂するものなり秋季枯葉を待て刈り取り上土を軟にし厩肥を充分に覆ひ其上に少しく土を被ひ置く可し翌春に至り尙土を覆ひ七八寸の深さを保たしめ嫩莖採收到供す可し嫩莖を採收するには地上に出でんとするものを毎朝手にて折り取るべし又採收せる嫩莖は食用に供する迄地中に埋め光線に充つべからず右の方法にて設けたる畑地は約十年

位收穫を繼續し得べし「アスバラガス」は市價貴きもの故當業者に於て促成栽培をなすものなれども其の方法は此所に略す病害虫は微菌莖葉を犯すことあれども甚しきに至らざるものなり

尙ほ滿洲には草丈一尺四五寸乃至二尺位の野生ありと云ふ乾燥に堪ね栽培容易なり秋季赤き實を結ぶが故に採りて春苗床に蒔く可し又専ら室内栽培用に適せる「アスバラガス、スブレンゲリー」同「ブルモサナナス」並に同屬なる「スマイラックス」と云ふ種類ありて四季の觀賞に適す其の内「スブレンゲリー」は垂下性にして鉢の四方に密生せる濃緑の枝葉を垂れ秋季に至り南天大の赤色の實を多數結び美觀を呈す又「ブルモサナナス」は攀登性にして十數尺に伸長するも小鉢に植ゆる時は一二尺の高さとなりて風致あり「スマイラックス」も攀登性にして其の高さ二三尺に及ぶ多數の枝條を叢生し葉は濃緑にして短かく小笹形をなして光澤あり尙ほ夏時赤色の實を結びて美觀を呈す之に種々の構造をなせる支柱を興へて興あらしむ之が繁殖法は實生又は株分となすことを得培養土は腐葉土に砂を多量に混へ排水可良なるを可とす

一〇、秋菊 洋名クリサンセマム

菊は菊科に屬する耐寒多年生にして其種類を大別する時は秋菊夏菊春菊寒菊等あり

其内優良なるものは秋菊にして品種最も多し近年滿洲に於ても其栽培稍々流行し來りしも奥地に於ては栽培期間短かき爲め好成绩を得ざるの憾あり去れど種類の撰擇と栽培法に注意する時は強ち失望す可きものにあらざるべし元來菊の栽培法は甚だ丹精を要するものにして其方法宜敷を得ざれば失敗に終ることあり逐次栽培上の一般を述べし

秋菊の分類

秋菊の種類は甚だ多く其數數千種ありと云ふ之を大別する時は大菊、中菊、蟻蛾菊、伊勢菊等あり大菊の内にも一文字、八重、千重、萬重等咲方種々あり中菊とは一名正菊或は狂菊とも云ひ千重、萬重等あり其外瓣は管瓣中は匙瓣、内部は平瓣となり之を三役と云ふて種々の規則正しき狂咲をなす其花形極めて優美なり尤も大菊、蟻蛾菊、伊勢菊等にも此三瓣を備ふるものあれども狂咲をなさず尙單様又は二様の瓣を備ふるものありて同じからず

繁殖法

繁殖法は根分、挿木、葉挿、接木法等に依る根分は五月上旬頃之を行ひ可成舊根を少なくし溝床に植わ或は三四寸鉢に上げ溝床内に埋め簾を覆ひて日蔭となし生育を始む

るに従ひ日光に直射せしむべし此法は専ら奥地に行ひて可ならん奥地にては溝床に埋むるよりも温床或は室内の日當りよき窓際にて培養す可し大連附近に於ても晩生種に對しては此法を行ふを可とす挿木法は五月中旬より六月上旬の間に於て其新芽を二三寸の長さに切り箱或は溝床に砂を盛り砂なき時は水排きよく肥料分少なき土を以て砂に代へ之れに一寸位挿し込み砂上を軽く壓し付け日覆ひをなし灌水に注意し活着したるものは漸次成長し濃綠色を呈す若し挿すに當り切口と砂又は土壤と密着せざる時は依然白綠色を帯ぶるものなるが故に之等は抜き取り挿し直す時は大抵活着するものなり此の如きは菊に限らず凡ての花挿木に於て屢々遭遇することなれば注意すべし接木法は七八月頃菊或はカハラヨモギの類を砧として軟かなる部分を平に切り落し中央より堅に六七分切り割り接穂は砧と同じ大きさのものに軟かき芽を二三節付け其葉は前日より切落し置き穂の下部を六七分の楔形となし右の砧木に挿し込み日本紙或は他の軟かき纖維にて接目を軽く巻き置く時はよく活着するものなり培養土は排水よき肥土を用ふ可し

移植法
根分となし三寸鉢に取り上げたるものは鉢底に多數の毛根を露出するに至らば根を

傷付けざる様土付の儘抜き取り五寸鉢に植替を行ひ根の充分鉢内に廻るを待て更に七寸乃至八寸鉢に移して開花せしむべし又挿したるものは活着して伸長を始むるに至らば溝床に二尺距離に移植するか或は五寸鉢に取り其後根の發育するを待て七八寸鉢に移し開花せしむ可し若し床植となし培養するものは花蕾の發生するに及ひ八寸乃至一尺鉢に取る可きも大株なるときは一尺二寸鉢をも使用せざるへからざることあり要するに鉢に早く取上たるものは開花早く床地に長く置き晩く鉢に取上げたるものは開花晩くるのみならず草丈高くなり易きに付成る可く早く鉢に取上くるを可とす尙草丈低きものを得んとするには種々の方法あるも苗を小鉢に上げ漸次大鉢に培養するときは其目的を達すべし

肥料

肥料は菜種粕大豆粕鳥糞等に水を加へ充分醗酵腐熟したるもの、浸出汁を極めて稀薄となし度々施用す可し施用の際は葉に掛けざる様注意すへし葉に汚點を生ずる時は枯葉を出す原因となることあり又肥料の濃厚なるものは量餘りに多く施すときは發育旺盛に過ぎ節間距たり葉は厚くなりて垂下し風姿を亂すことあり殊に厚葉性ものは肥料を多量に施さず灌水も亦控目に行ふを可とす又肥料の施用量其度を過

くる時は開花季を遅延せしむるか故に最も注意を要す而して開花季に施肥するとき
は花瓣厚くなり伸ひ悪し大輪種も之れか爲め其特性を發揮すること能はず又中菊に
ありては完全なる狂をなさることありされは其止め肥は當の指頭大となりし頃稍
や濃厚なるものを用ひて止む可し又人造肥料の硫酸アンモニア過磷酸石灰等の溶液
を灌くも効多し

摘芽法

根分法によりて仕立てたるものは四五寸の高さに生育したる時頂芽を摘み取る
は其下より四五芽の枝を發生するか故に其内丈夫なるもの三本を残し他は皆摘み去
るへし尤も奥地に於ては其儘伸長せしめて開花せしむるも可なり而して其残したる
新芽に四五葉を發生したる頃各枝共二三芽宛を残して摘心し之より健全なる枝を五
本七本立等となし開花せしむへし右の方法は根分挿木共に適用するものとす然れど
も一株十本以上を立てんとするには三四回の摘芽を行ふへし而して其摘芽は七月
旬以後は絶對になさるるを可とす又當は各枝共最も生育良好なるものを一箇宛残し
他は悉く摘み取る可し而して葉腋よりも盛に側芽を發生するか故に之は全部摘み取
るを要す

灌水法

菊の節間に不揃あるは肥料の加減によりて生ずるも亦灌水の方法により甚たしく不
揃を生ず即ち朝顔の灌水法に於て述べたる如く夜間曇天等には植物の伸長し易き
ものなるか故に斯る際には水を控へ晴天の朝毎に多量の灌水をなす可し若し雨天に
遭遇したるときは雨に濡れざる場所に置き又此の如き場所なきときは之れを降雨の
際のみ倒し置ても可なり又床地に栽植せるものは其内に水の停滯せざる様水排きの
方法を講し且床地一面に糞砂等を敷きて土塵芥等葉の表裏に附着するを防止す可し
然らされは菊の黒星病ウドンコ病等は此の如き際に寄生するものなり

害虫

蚜虫の被害甚たしきことあるか故に斯る際は害虫驅除法を参照して驅除す可し
根切虫 根廻り一二寸以内に深さ一寸許りの穴を掘り晝は其中に匿れ夜は枝葉に上
りて心を喰ひ盡し菊をして花を開くの餘地なからしむ之れを除くには朝灌水の際虫
喰葉及根元に虫糞の有無を検し若し之を發見するときは直ちに其穴を探り虫を驅除
すへし若し虫害甚しきときは夜間十二時頃燈火を以て菊床を點檢するときは葉と虫
の色異なるを以て能く之れを捕へることを得へし

支柱

菊の伸長を始むるや開花季中莖の全長を豫想し之より稍や長き支柱竹其他萩ヨモギ等の一年枝を採りて乾かしたるもの等を立て菊の倒れざる様結付け半は開花するに及ひ等の下部に接して支柱の上端を切り去るへし

越冬法

露地にて越冬する處に於ては秋季落花後鉢より抜き取り床地に埋め多少防寒をなす可く又奥地に於て露地貯藏出來さる所は鉢植のまゝ温室其他適當の場所に入れ置くへし

一、アンチユース

アンチユースは紫草科に屬する多年性にして六七月頃空色の可憐なる花を開く草丈三四尺に及ぶ開花を終りたる枝は其莖の基部より切去るときは更に新芽を發生して堪わす開花するものなり八九月頃花壇に直播すべく境栽培花壇切花等に適す

一二、シヤスターデージー

菊科多年草にして葉は「デジー」(和名雛菊)に似たり草丈二三尺花の直徑二寸乃至三

寸白色の一重なり草勢強健境栽培花壇切花等に適す八九月頃播種し翌春四五月頃植出すへし

一三、カンナ 和名美人蕉

「カンナ」は曇華科に屬する多年生球根草花にして莖葉共芭蕉に似て草丈三尺乃至六七尺に達し一株十數本を生す花は總狀に發生し大なる唇形をなす花色は黄緋紅桃朱絞ボカシ等種々あり種子は圓形にして極めて堅く黒色を帶ふ五月頃播種前種子の成口即ち發根する部分を小刀或は鋏にて肉を傷つけざる様皮のみを削りて微温湯に浸すこと一晝夜位にして鉢或は苗床に播種し鉢に蒔きたるときは可成温き處に置き發芽するに及びて充分日光に當て四五寸に生育したるとき鉢或は花壇に移植すへし球は數球一塊となり居るものなれば各一個宛に鋭利なる小刀にて切り取り切口には木灰を附け植込む可し植うへき場所は日當りよくして表土深く膨軟なるところを可とす或は石灰肥料は堆肥の如き地を軟かくするものを用ふへし

一四、香紫羅欄花 洋名ウオールフラワー

香紫羅欄花は十字科に屬する多年草なり草丈二尺花色黄樺紫紅絞等ありて芳香あり播種して二年目より開花す鉢植となして室内の栽培に適し露地に於ては乾燥地に耐

ゆるを以て満洲に最も適するもの、一なり春秋兩季圃地に直播するを得へく鉢或は苗床にて苗を仕立つるも可なり冬季露地にありては越冬不可能に付秋季鉢に上げ温室或は温室の低温なるところに置くときは翌春より開花するものなり

一五、 君か代蘭及糸蘭 洋名ユツカ

君か代蘭は百合科に屬し墨西哥に野生すと云ふ耐寒性多年草なり其葉は厚く硬く濃緑にして先端尖り針狀をなす其莖高く十數尺に達し多數の葉を叢生す糸蘭は之と同屬にして無莖なり其葉の兩縁に多數の白き細絲を有するか故に此名あり右兩種とも露地に栽培するの外鉢植として冬季間乾燥せる室内の觀賞に適し又花壇の中央木となすに適す本種は原産地にては瘠地に生育するか故に鉢栽培としても多量の肥料及水を要せず繁殖は株分及挿木によるを便とす實生も亦容易なれども其種子少し挿木を行ふには地に挿すを普通とすれども植木鉢に挿すも差支なし

一六、 イリス 和名花菖蒲 燕子花類

イリスは鳶尾科植物即ち花菖蒲「アヤメ」カキツバタ類の總稱なり之等は概ね耐寒多年生草花にして現に野生「アヤメ」「ヒオトギ」等あり花菖蒲は奉天其他の各地に栽培せられ「ヒオトギ」を除く外の種類は美花を得んには濕潤地に栽培するを可とす適地なき場合

は空樽水盤等に栽培するも可なり

實生にて繁殖せんとする場合は四五月頃鉢或は苗床に播種し發芽後は稀薄なる水肥を二三回施し四五寸に生育したる時目的の場所に植出し毎月二三回施肥する時は翌年に於て開花を見る可し又株分は三四年毎に行ひ其時季は落花後を宜しとするも地下莖か冬眠の準備をなす以前即ち莖葉枯凋する以前になすへし而して栽植の場所には堆肥厩肥等の腐熟したるものを土に混入し古株を落して植う可し花形色澤等は皆人の知る所なれば之を略す

一七、 芍薬及牡丹 洋名ペオニー

芍薬は毛茛科に屬する多年草植物にして吾人の能く知る所なり繁殖法は實生及株分法によるを普通とすれども實生は手数を要するか故に一般に行はれず實生法は第一編第六章第五項發芽促進法を参照す可し専ら株分法による株分法は四五年毎に春季發芽前又は秋季莖葉枯凋後行ひ古根を去り栽培すへき場所は深く打起し堆肥厩肥等を混和し土壤を膨軟ならしめ株は芽の發生部を地下二寸位の深さとなる様覆土すへし冬季は其上に藁其他のものを蔽ひ防寒すへし牡丹の繁殖も亦實生或は株分法によることあるも概ね接木法による栽植の方法は芍薬と同しく只支柱を立つること必要

なり兩者共肥料は水肥となし發芽前後兩三回施し其以後は土地の乾燥せざる様時々灌水す可し尙開花まで灌水充分なるときは大なる花を見るへし落花後にありても時々施肥を行ふときは翌年の着花多し

一八、景天草 洋名セダム

景天草は景天科に屬する宿根草にして乾燥に堪ゆ草丈二尺大葉小葉二種あり莖葉白綠色にして葉は厚く多肉性なり八九月頃より傘状の花を開く奥地にても露地に越冬し極めて丈夫なり鉢植となして風趣あり室内にては晩秋菊花の如く長く觀賞するを得花色には黄白に紅交り等あり普通種子を鉢又は苗床に播下し苗を仕立て春秋何れに蒔くも生育するものなり密生せるものは間引を行ひ二三寸に成長したるとき花壇に植出す可し根分も亦春秋兩期に行ふことを得「ホンソウ」バノキリンソウ「花色は黄紅」「キリンソウ」(花色は黄)「ランマン」ネングサ「花色は黄」及「白班入」等あり是等の性状は殆ど景天草に似て乾燥及び寒氣に耐ふ

一九、紫萼 洋名フンキア

紫萼は百合科強健なる宿根草にして葉は株より叢生し莖を有せず葉柄長くして隋圓形の廣葉を有す編入班入等あり花は薄紫にして花莖直立す九月頃根分を行ひ膨軟にして肥沃の樹蔭に植うる時は生育殊に宜し夏季灌水をおぼらす水肥を月三四回施す可し本種は奉天に露地栽培を見る

二〇、荷包牡丹 ケマンソウ 洋名デイセントラ

「ケマンソウ」は罌粟科に屬する多年草にして莖の高さ二尺花は淡紅色の可憐にして又奇形なるものを總狀に着生す繁殖は根分に依り半庇蔭地の肥沃にして膨軟なる所に植ひ年々春堆肥の如き肥料を施す可し南滿洲到る處に越冬せん

二一、大花忍冬 洋名ロニセラ 又オネーサツクル

大花忍冬は忍冬科に屬する纏繞性木本なり細長き筒状の花を各節に開く黄紅色にして美なり露地にては柵門柱樹木等に纏繞せしむるを得鉢に取りて支柱を與ふるときは室内の裝飾に適す忍冬は滿洲にも野生あり其花黄色なり何れも株分及び挿木にて繁殖するを得施肥充分なる時は八月頃より絶えず開花し栽培容易なり

二二、楊梅 又ベニウツギ 洋名デイエルグイラ

楊梅も亦忍冬科にして高さ二三尺の灌木なり五月頃筒状の奇形なる紅花を總狀に開く滿洲には淡紅種の野生あり栽培品種の内には花黄色なるあり繁殖法は實時より行ふことあるも挿木及び株分による栽培極めて容易乾燥に耐は且耐寒性なるか故に滿

洲各地に植栽することを得ん

八〇

二三、地錦 洋名アイヅイー

地錦は葡萄科に屬する蔓性木本にして葉は葡萄に似て莖の所々より鬚根を下し樹木石煉瓦其他造營物に纏絡せしめて倒潰を防ぐ之を壁塼等に葡萄せしむるときは見苦しき部分を蔽ひ且つ葉茂るを以て夏季の炎熱を防ぐと共に翠綠滴るか如き趣あり自から涼味を感せしむ晩秋には全葉紅黃の錦と化し美觀を呈するに至る滿洲にては之を栽植して裝飾となすに適す其他室内觀賞用として鉢植釣籠又は窓函に植ねて長く垂れしめ或は窓の外縁を飾るに用ひて妙趣あり枯木を鉢に立て、小ヅタを匍はしめ盆栽とするも簡易にして見榮あり其種類は種々ありて滿洲に野生するものあり隨所に採集することを得べし而して其繁殖法は挿木に依るを普通とし概ね耐寒性なるも内地産中「キヅタ」と稱する厚き葉を有する種類及び洋種中の或種は越冬不可能なり

第三編 室内園藝法ト其意義

夏期屋外に寸尺の空地なき邸宅に居住する人は勿論一般に冬期氷結の日に於ても亦僅少の勞力によりて花卉に親み自然の美妙に接することを得べし之を室内園藝法又は窓際園藝法と云ふ今其概略を次に述べん

室内園藝を分ちて卓上園藝釣籠園藝窓函園藝等の栽方となす而して卓上園藝とは植物を鉢植となし日當り好き窓臺又は押出窓に陳列して栽培するを云ひ釣籠園藝とは針金其他の材料にて造りたる籠に鉢植を釣り下げ觀賞するものを云ふ又窓函園藝とは窓の外方なる窓臺上或は壁に接して箱を裝置し之れに栽培するものを云ふ而して此所に室内園藝の内に室外の窓函栽培を加へたるは室内と最も密接なる關係を有するが故に共に述ぶることゝなせり

第一章 一般ノ手入法

第一項 繁殖法及肥土

室内園藝に要する植物の繁殖法は第一編第六章に述べたる方法による可く肥土の調

八一

製法は第一編第二章を参照す可し

第二項 培養土

培養土は室内の鉢植に供す可きものは室外のものとは違ひ空氣の流通光線の不足等より酸敗し易く之れが爲めに一時元氣好き鉢植も何等の原因を見出さざる内に衰弱を來たし遂に見る影もなきに至ることあるは吾人の屢々經驗する所なり
されば之れを防ぐの方法は屢室内空氣の交換を行ひ土壤の排水を可良ならしむる爲め鉢或は窓函の底に木炭素焼鉢の破碎したるもの牡蠣殻石の破碎したるもの等を鉢の深さに準じて七八分乃至一二寸の厚さに入れ其上に小砂利を敷き其上に培養土を充たす可し培養土は肥土に腐葉土と唱へ秋季落葉したる木葉を集め堆積腐敗せしめたるものにして又夏季アカシヤ其他の新枝を切り取り堆積せしむるも腐朽して良好なる腐葉土となり年内に使用することを得るものなり之に砂の適量を加へたるものを堆積貯藏し置き使用する其の割合は肥土六腐葉土二砂二位に調合するときは大抵の場合に間に合ふと雖も其植物によりて多少割合を異にするは免れざるものなり特殊の培養土に對しては其章下に於て述べん

第三項 植木鉢

植木鉢は可成素焼にして高二三分位の足を有するものを用ひ鉢の底と置く可き箇所に僅かの間隙を保たしむべし若し足を有せざるものを使用するときは窓臺上に縁を有する板を置き其上に石炭殻或は小石を敷き鉢を置ぶるときは間隙を得べし又板の代りに皿を用うるも宜しとす尙足を有する鉢と雖も皿に載せて陳列し皿には常に多少の水を満たし置くときは水は適宜鉢に吸收せられて好結果を得ると共に皿も又一の裝飾を兼ねるものなり鉢は凡て使用前古土の多少なりとも附着せるものはよく洗ひ落す可し室内の乾燥甚しきときは刷毛を以て鉢の周圍に水を塗り鉢臺の石炭殻小石等にも濕氣を與ふべし硬き厚葉を有する植物には刷毛又は海綿に水を含ませ屢々塗るを要す尙鉢を使用するときは其使用前充分水を吸收せしむべし

第四項 鉢植法

播種挿木其他の方法により仕立てたる苗は可成小さき鉢に探る可し其の方法は徑二三寸の鉢なるときは小鉢の破片或は木炭の小屑を以て土の漏れざる様鉢の底穴を塞ぎ培用土を入れ稍壓付け後苗を移植すべし移植に當り根長きに失するときは適宜に切り可成自然の儘開く様鉢に入れ土を盛り軽く苗及び鉢をゆすりたる後兩手の親指を以て土面を軽く押し苗の倒れざる様なすべし苗の發育をなすに従ひ其の根は鉢の

内面に充滿するに至らば一廻り大なる鉢に移すべし而して其際は鉢の底に鉢の破片にて穴を塞ぐの外小砂利或は鉢の破片の小さきものを五六分厚き位に入れ其上に培用土を少し盛りて其の中に据ね周圍に肥土を搗き込み可し斯くて又其鉢にも根の充滿したる際は之れを抜き取り土を大部分採み落し長きに過ぐる根を切り去り同徑或はより大なる洗ひ上げたる鉢に移植す可し此際に於ても其鉢の底に小石等を入れること前記の如く移植の際は根と土と緊着する様揺り根間に空隙を生せしむべからず尙植木鉢に土を盛るには鉢の大小により其上縁より一寸乃至三四分下迄に満たし灌水に差支へなき様注意す可し若し土壤を鉢一杯に満たすときは灌水に不便のみならず其の土をも灌水する度毎に外面に洗ひ出して鉢の外面及び其附近を汚し不快を感せしむるに至る可し

第五項 隙間風及塵埃

隙間風及び塵埃は共に植物を損傷するが故に植物を陳列したる附近の窓は充分目張を成す可く塵埃は又植物の氣孔を塞ぐが故に非常に害あり之れを防ぐには海綿を微温湯に浸して葉を拭き或は洗ふ可し而して塵埃の程度によるべけれど三四日毎に一回宛行ふを可とす

第六項 灌水法

灌水は其の鉢の水分缺乏したる場合に行ひ決して一日二回或は三回と度数を決め又は水量を定めて施す可らず何となれば植物の種類土壤及鉢等の關係により又晴雨曇天及び室内の寒暖により日々蒸發量に大差あるが故に乾燥せるときは差支なきも蒸發量少なきに灌水多きときは病的衰弱を來すに至る可し然らば之れが理想的灌水法は各鉢内に於ける水分の有無を検するにあり之が方法は左の四項に分つを得べし

(イ) 土壤の表面より觀察する法

土壤の濕れる時は暗色を帯び水分缺乏するに従ひ其の色を脱して漸次灰白色を帯ぶるは吾人が常に容易に觀察し得る處なり然れども其乾燥程度灌水を要するや否やを知るには灰白色を帯べるとき指にて其上土を僅か許り握り取り「サラサラ」する位のごき灌水すべし若し土の表面に白色或は黄色を有する物質吹き出で或は苔を發生せるが故に判明せざる場合は次の方法によりて觀察すべし

(ロ) 素焼鉢の表面より觀察する法

吾人は亦煉瓦の乾燥せるものを水に浸すか或は雨に濡らしたるとき暗赤色を呈する

を見る可し植木鉢も亦斯の如く土壤に水分を有する間は暗赤色を呈し乾燥するに従ひ其色薄らぐ故に其灌水す可き程度を知るには鉢の外面に少しも濕氣の色を認めざる様に成りたるとき灌水す可し然れ雖鉢の外面苔を有するときは或は硬く焼き過ぎたる鉢の場合には其色顯はれざる事あり若し苔の附着せる場合にはよく洗滌し素焼鉢の特徴たる空氣の流通をも可能ならしむ可し

(一) 打音觀察法

鉢内に水分の有無を知るには小鉢は爪にて弾き大鉢なるときは中指を折り其關節にて鉢の外面を叩くべし若し乾燥せるときは澄音を發し水分充分なるときは濁音を發す

(二) 土の硬度により觀察する法

鉢内の土壤中水分の多少に因り其硬度を異にす即ち水分多ければ軟かく少なき時は硬し故に始終其硬度と他の觀察法とを参照して適度を知るにあり
灌水の時刻は夏季は朝或は夕刻に行ひ日中之を避く可し若し水不足して葉萎凋已むなく日中灌水せざるを得ざる場合は日蔭に持ち行き土壤及び鉢の熱冷めたる後灌水し植物充分勢力を恢復したる後陽光に充つる様なすべし春秋朝夕冷やかなる時節

は午前十時頃に施し冬季は朝のみ行ふを可とするも乾燥したるときは隨時灌水するも差支なし灌水に當り最も注意を要する點は凡て植物は適當の水分及温度を有する場合に於て夜間及曇天には軟弱なる伸張をなし日光の直射する間は生長遲々として強健なる發育をなすものなり此の理により曇天及び夜間水分を少なくするときは健全なる發育をなし病虫害を受くること少なし然れば硝子越の弱き光線を受くる室内栽培に際しても此心を以て灌水及温度を加減すること最も必要なり使用すべき水は汲置或は雨水を最も可とす冬季は微温湯を用ゆ可し

第七項 窓函の構造及取付法

窓用の函の大きさは其窓の巾に應じて差異あり又材料に依りても構造を異にするものなり普通長さは窓の巾に等しくし巾は一尺乃至一尺二寸又は之れより廣くするも差支なからん深さは八寸位となす可し材料は八分板位にて差支なきも函の大きによりて五六分板となすも差支へなからん只底板のみは早く腐朽し易きが故により以上厚板を用うるも薄板ならざるを可とす又「ビール」函其他適當の空函を利用するも可なり
底板には徑四五分の排水穴を五寸隔位に設く可く函を釣るには亞鉛引鐵線の八番位を兩端に取り付けて窓の上部にある框に釣り付け函の内方即ち窓に接する方は窓下

なる石或は壁に持たせて支へしむ可し又函の下に受木を取付くるも可なり然れども窓下なる敷石の中廣き場合は其上に函を据ゐるを可とす敷石外方に傾斜せるものなるときは窓函の底裏に函の傾斜せざる様足を取り付く可し尙窓函より漏出する水により其敷石の汚れる恐れある時は其敷石と同じ長さを有する板にて函臺を設け其表面に數條の經溝を造り漏出せる水を之れによりて流すときは其杞憂を免れ得べし窓函の構造は大體前述の如き要領にて造り外部に種々の裝飾等を施すときは趣味あるものなり例へば櫟檜等の五六寸廻りの丸木を皮付のまゝ七八寸の長さに切りて窓函の縁となす如きは最も雅致ある構造なるべし

第八項 押出窓

廣大なる洋館には大抵室内栽培に適する窓を有し植物を陳列するに差支なきもの多し然れども一般の家屋は其構造簡易なるが故に之が目的を達すること困難なり斯る家屋にては日當り良き窓に押出窓を取付くるを便とす其構造は巾は現在窓巾の兩端左右に手の届く様適宜に取り奥行は二三尺外方の高さは二尺以上となし窓の上縁より適宜の勾配に硝子又は板を以て屋根を裝置すべし側面は硝子張となし普通の窓同様に開閉自在の裝置となすこと肝要なり

第九項 室内の温度

室内の温度は日中は攝氏二十二三度夜間は十五六度を可とするも少なくとも十度より低下せざる様なすべし夏時は充分日光に觸れしめ軟弱なる發育をなさしむべからず

第二章 室内用ノ植物

一、ウキツリボク 洋名アブチユロン

「ウキツリボク」は南米の原産にして錦葵科に屬する木本なり廣き葉を有し草姿六七尺に達するも鉢植としては常に切り込み一二尺位に仕立つべし開花は秋季より春季に及び花形は提灯狀を成して下り色は赤赤黄黄白絞り等にて大輪、小輪、班入葉等あり繁殖法は春四五月頃鉢に下種するも挿木法によるを可とす其法は新梢或は前年の枝梢を二三節宛付て切り取り砂挿しと成し活着したるときは三寸鉢に取上ぐべし害虫には貝殻虫の寄生する事あるが故注意して驅除すべし

二、天竺葵 洋名ベラルゴニユーム及ゼラニユーム

亞弗利加の原産にして稔牛兒科に屬する不耐冬多年生草にして四時開花す實生或は挿木にて繁殖す

實生は平鉢、蒔箱等に砂質の培養土を盛り充分灌水して種子を六七分以上の間隔に蒔き砂或は土を薄く篩ひ掛け硝子板を覆ひて攝氏二十度乃至三十度の場所に置き發芽を催したるときは二十度の温度を有する日光直射の場所に置き夜間は十七八度の温度を適當とす而して本葉一二枚發生したる頃他の平鉢に二寸距離に移植し廳て他の葉と相接觸するに至りて三寸鉢に一本宛移植し其の根鉢の内面に廻りたるときは更に四寸鉢に植換ふ可し尙生育中は充分光線に觸れしめざれば徒長し軟弱となる播種の時季は年中差支なきも四五月頃迄を適期とす

挿木法は肥料氣なき砂或は肥料を含まざる土と砂とを等分に混和したる土地に新梢の稍や成熟したるものを基部より切り取り一寸内外を砂に挿し砂の表面を軽く壓ゆ可し若し挿穂にして倒れ易き場合は之が基部に支柱を結び付け支柱を深く挿すを可とす而して之を二十度内外の温度を有する場所に置き夏季なれば簾越し位の光線に當て稍や發育の徴を見るに至り漸次日光に強く浴せしむるを要す此の間常に土の燥乾せざる様注意して灌水を行ひ活着して新葉二三枚發生したる頃三寸鉢に取り其後

の手當は實生のときと同様に取扱ふべし挿木に依るときは四寸鉢位にて優良なる花を見ることを得挿木の時季は實蒔法と同じく年中施し得可きも四五月頃最も可なり培養土は砂三腐葉土三肥土四位の割合となすべし現今一般にセラニウムと稱するは莖太くして其葉は圓葉の中に蛇の目形に茶色の斑文を有するものにして之を紋天笠葵と云ふ花色には白赤紫構朱其他非常に多くして四季開花す而して天笠葵を普通「ペラゴニウム」と稱し葉固くして缺刻多く花は前種よりも大輪多く花色は白桃紅及混合色にして莖も前種より細く秋季より翌春まで開花す本種は開花終了後切込みて充分日光に觸れしむること肝要なり蔦葉天笠葵も普通ペラゴニウムと稱するも其葉は厚くして光澤を有し蔦葉形をなす莖は細くして固く蔓性を帯ぶ故に支柱を用ひ或は釣籠用に適す其他麝香天笠葵と云ひて葉に芳香を有し深き欠刻を有するものありて立性なり花は觀賞に値せずと雖も裝飾用として價値あり天笠葵は窓函釣籠用共に適し尙露地の花壇用としても妙なり

三、ヘリオトロップ 和名キダチルソウ又香水草

「ヘリオトロップ」は紫草科に屬する不耐冬多年草なり其花より放散する芳香は恰かも香水の如く人をして快感措かざらしむ花は小にして總狀をなし色は紫淡紫等普通な

り繁殖法は挿木實生法共に容易にして挿木法は未だ開花せざる新梢を二三寸に切り砂挿しと成す可し活着後の取扱は前記天笠葵の方法に準じて可なるも三四寸に生長したるとき摘心するを可とす

四、松葉菊 洋名メセンブリアンセマム

松葉菊は菊科不耐冬多年生草花にして匍匐性なり葉は多肉多汁にして三角形の針状をなし大中小種々あり花色白桃緋黄等あれども普通桃色なり繁殖法は實生及挿木による挿木法は枝梢を基部より切り取り砂挿しとなす可し開花期は冬季間及六月頃より八月に至る栽培極めて容易なり釣籠花壇等にも可なり

五、ペテユニア 和名ツクバネアサガホ

「ペテユニア」は不耐冬多年生にして茄科に屬す南米アルゼンチンには自生せるもの多しと云ふ草丈數尺に達するものあるも鉢植となすときは五六寸にして花を開き白桃紫縹絞り等の色彩に富む一重八重牡丹咲狂咲あり葉莖は白き短毛を有す繁殖法は實生及挿木に依り挿木は新梢の固からざるものを取り二三節を付けて切り砂挿しとなすべし栽培容易にして直立せしむるには支柱を與へ窓函露地花壇等にも適す

六、フクシヤ 洋名フューシヤ

「フクシヤ」は南米及墨西哥の原産にして柳葉菜科に屬し不耐冬性多年生草本にして室内植物として最も廣く觀賞せらるるものなり
花は下向に垂れ蕾は形釣魚用の浮木に似たり萼と花瓣は色を異にし萼は白青白暗赤色等にして花瓣は紅桃紫樺等なり花形は一重八重長短大小等種々あり繁殖法は實生及挿木法に依るを普通とし挿木法は一二年生の枝梢を二三節毎に切り砂挿しとなし弱き日光に當て灌水に注意する時は早きは四五日大抵十日間位にて發根す又前記の長さにて切り硝子瓶に木を盛りて挿穂の下端を之れに浸し陽光の強からざる温かき場所に置く時は一週間乃至十日位にて發根す發根して新芽の成長を始むるに至らば二寸乃至三寸鉢に砂質培養土を入れ植ゆ可し而して「フクシヤ」は強烈なる陽光を避くるを要す花は冬季より初秋に及び秋季より半休眠状態に入るが故に其際は灌水を控ふ可し尙冬季給温するに及び古根及古土を落し伸び過ぎたる枝は適宜に切り去り新に土及鉢を取替へ開花するに至らば水肥を屢施す可し害虫には蚜虫綿虫等の被害あり注意して驅除すべし

七、マーガレット 和名モクシユンギク

「マーガレット」は菊科不耐冬多年草にして其葉形菊の葉に似て葉莖共に淡綠色にして

滑澤あり年數を経たる枝梢は木質の如く草丈二三尺に達す實生又は挿木にて繁殖するを得普通挿木法による實生或は挿木となしたるものを五六寸の高さに成長したる頃一回摘心を行へば其枝梢分岐し不揃ひなき傘状を呈し開花するに至るものなり色は白及黄色にして一重なり挿木後三ヶ月位にて各枝頭に開花す挿穂は新枝の頂部を二三寸長さに切り取り砂挿しとなす可し鉢植及露地花壇の栽培に適す

八、頂薔薇 洋名ローズ

薔薇は薔薇科に屬する耐寒性灌木或は蔓性なり灌木のものに叢生性立性下垂性等あり叢生性のものは枝條強直ならざるも下垂性の如く枝條倒るることなく多數の枝條を發生す此の性のものは鉢植及び境栽花壇に適し立性のものは鉢植及び花壇の中央木薔薇花壇等に用ゆるに適す下垂性は枝條強直ならず極めて倒れ易く生垣及境栽用に適す攀登性のものは牆壁に誘引して美觀を呈すると共に牆壁の燒熱を防ぐの用に利用することを得薔薇は其咲方に一季、二季、四季咲等あり又一重、八重、千重、萬重の別あり種々の色彩に富み芳香に富むもの多し其繁殖法は挿木、壓條、實莖、接木法等あり挿木法は春季に行ふ場合は前年夏季に發生したる枝梢を切り取り二三節を附し約三

寸位の長に切り砂挿となす可し夏季土用後に挿木を行はんとせば其年の春發生したる新梢を基部より枝の木質の少し位附着する様切り取り之を前記の長さに切り鉢或は挿木箱に砂挿となす可し活着後充分根の發生したる頃三寸鉢に移す而して新芽に花蕾を發生することあるも年内は花を咲かす蕾の現はれ次第切り去り樹勢の強健を計る可し春季挿木したるもの鉢内に根の廻りたるごとき地に下して充分肥培すべし又秋季挿木したるものは翌年露地に培養するを可とするも適當の地積を有せざる場合は鉢内にて肥培すべし又遠地より取寄せたる場合も一ケ年間は露地にて肥培し勢力の挽回を計るべし鉢のみにて培養せんと欲する場合は鉢内に充分根の廻りたるごとき一廻り大なる鉢に移し換へ肥土を盛るべし

壓條法

壓條法は多數の枝梢を有する株より一二年生の枝を折らぬ様曲げ其株際の中中に壓し附け其枝の上に一二寸の土を盛り支柱を與ふるか又は石煉瓦の類にて枝の動搖せざる様鎮壓すべし尙枝の地に接する部分を利刀にて皮を少許削るときは發根早し發根充分なるごときは母株より切り離し適當の場所に植うべし

接木法は切接及芽接法による而して接砧は野生薔薇の株を掘り來り一年間露地或は鉢に植へ置き切接は四五月頃芽接は八月頃行ふ可し而して活着したるものは其年内は勿論翌年も開花せしめず専ら樹勢の強健を計る可し

切込法は薔薇の品種と其用途により異なるれども要は各枝共平等の發育をなさしむるにあり即ち花壇の中央木に使用せんとするものは始め強健なる一本立となし倒れざる様支柱を與へ高さ四尺位の處より切り捨て頂上部にのみ多數の枝を叢生せしめ球形に仕立つを良とす落花したる枝は二三芽を残して其上を除去し尙弱小なる枝も切捨つるときは絶えず新枝を發生して開花するものなり之に使用する薔薇は立性の四季咲きを用ふ可く墻壁誘引用のものは其使用する場所に依り數條の枝を出して匍匐せしめ目的に應じたる切込みをなし尙ほ誘引には針金を張るべし薔薇花壇用には前記の一本仕立となすも可なれども一株より數本を立て之を二三尺の高さに切り込み花枝を生せしめ落花後の枝は其基部二三芽を残して其餘を剪去し尙他の弱小なる小枝及徒長枝は悉く切り捨つ可し鉢仕立法は其鉢に植込む前に各枝共二三芽を残して切り込み虚弱なる枝は基部より切るべし落花枝の剪去は前法に依り又根の長過ぎるもの

の損傷せるものも亦剪去すべし前記二項に對しては立性及叢生性を用ゆ可し

培養土

鉢植用の培養土は園土六分肥土二分砂二分の割合にて之れを細目の篩にて篩ひ用う可し

肥料

肥料は充分施し常に葉面に光澤を有する程度となすを上々とするれども過量なるときは葉は萎縮し黄色に變じ衰弱を來すことあり施肥上注意すべし尤も蚜虫及アカダニの葉裏に寄生し被害せられたるものも略之と同様の徴候を見ることあり心すべしされば施肥は稀薄なるものを度々施し其の葉色を見て施肥の回數を加減するを可とし菜種油粕大豆粕骨粉過燐酸石灰等の浸出液を用うべし又馬糞の稍腐熟せるものを其儘鉢上に置き日々其上より灌水を行ふときは非常に成績好し此方法は獨り薔薇に限らず多くの鉢物に於ても亦効多し

害虫

害虫は蚜虫貝殼虫尺取虫アカダニ葉卷虫等あり第一編第七章に述べたる害虫驅除法を参照手當をなすべし

蓄薇は四季咲の外は冬季鉢の凍結せざる程度の場所に置き越冬せしむ可く四季咲性と雖も右の方法に因りて妨げなし

九、ヒヤシンス 和名風信子

南亞弗利加の原産にして百合科に屬する耐寒多年性の鱗莖植物なり葉は水仙に似て短かく厚くして固し花軸を球の中心より抽出し七八寸に及ぶものあり花は花軸の周圍に多數着生し總狀をなす色は白紫紅鹿の子青濃紅等にして一重八重あり繁殖法は實生及鱗片繁殖法に依る

之が栽培法は八九月頃肥大にして重き球を購入し五寸鉢なれば一個宛八寸鉢なれば三四個宛を植ゆるを得べし先づ鉢の底には小石を五六分厚さに入れ其上に砂質の肥土を盛り軽く壓し付け其中央にヒヤシンスの球を入れる丈の土を除きて少許の砂を敷き其上に球を入れ然る後周圍の土は固く壓し付くべし

然れども球を下に壓し付くときは球の下部にある土を固くし發根を妨げ又球の浮き上がることもあるものなり栽培上注意を要す球は其の三分の一を地上に出すを可とす植込みたる鉢は深き箱に入れて其中に砂或は輕き土を鉢上五六寸厚さに盛り鉢の上部のみは粗糠を用ゆるもよし涼しくして風雨を避く可き位置に置くか或は其の鉢

植を箱に並べて其鉢と同じ高さに土を盛り涼しき穴倉に置く可し尙屋外に箱を置けるものは凍結の虞あるに及び其儘穴倉或は温度低き室内に取入るるを要す若し鉢植のみを穴倉に貯造するときは土壤乾燥根を損傷することあるものなり

右の如くなしたる「ヒヤシンス」は十二月上旬頃には一寸内外の葉を抽出し居るが故に是を取出して十四五度の温度を有する室内(尙低きも差支なし)に置き漸次日光にて其葉濃綠色を呈するに及び充分光線に觸れしむ可し而して温度高きときは早く開花

するも早く謝花し温度低きときは長く觀賞することを得るものなり斯くて右箱内にあるものは漸次取り出して右の方法にて培養するときは翌春三四月頃まで順次開花せしむることを得べし此の外硝子瓶内にて水栽培を行ふ方法あるも室内栽培としては比較的困難なるが故に此に之れを略す

一〇、チユトリップ 和名鬱金香

「チユトリップ」も亦百合科に屬する鱗莖の球根草花にして東洋の原産なり其種類甚だ多く色は白黄紅紫紅色緋等にて種々の色彩に富む其の花形又種々あり栽培法は「ヒヤシンス」と同じ取扱ひとなす可し而して五寸鉢を使用するときは三球位を寄せて植わ

僅かに頭を土の上に出すべし其植込時期は八月中旬頃を適當とし時季の晩るるに隨ひ不結果を來すは吾人の經驗する所なり而して「チューリップ」は「ヒヤシンス」程に耐寒性に非ざるを以て凍害を受けざる様注意すべし

一、花泊夫蘭 洋名クローカス

花泊夫蘭は鳶尾科(イチハツ)に屬する球根植物にして耐寒性なり其球は不正瓶狀形をなし葉は深綠色にして細長く八九月頃四五球を四寸鉢に植わ涼しき場所に置くときは十一月頃より一二月頃迄順次開花せしむるを得るものなり其取扱ひ方は「ヒヤシンス」に同じ但し花泊夫蘭は攝氏十度位の溫度を最も適當とするが故に鉢植として穴倉に貯藏するには凍結せざる程度の場所ならざれば貯藏の儘開花することあり完全に開花を了れるものは充分肥培して葉の黄色を帯ぶるに至り漸次給水を止め其土の乾燥するを待ち球を掘り出して溫度低き凍害の虞れなき處を撰び砂に埋めて貯藏す可し又鉢のまゝ貯藏するも可なり花色は白紫淡紅等にして光澤あり漏斗狀をなす草姿七八寸に達し室内栽培に最も適す

一二、水仙 洋名ナースィス

水仙は石蒜科(ヒガンバナ)に屬する耐寒生の球根植物にして我内地に廣く栽培せらるるは皆人の知るところなり其種類甚だ多く喇叭咲水仙のみにても數十種あり其他支那水仙(日本在來種)同一物ならん口紅水仙一重八重芳香を有するもの等あり其栽培法は在來種を除く外は大球は三四寸鉢に一球づつを植む「ヒヤシンス」に於けると同法にて發芽せしめ漸次日光に觸れしむるときは一月頃より二三月に至る迄觀賞するを得べし

水栽培法

水仙の水栽培法は極めて容易にして何人にも行ふことを得其方法は皿或は水盤に水を盛り其中に水仙の球根を立て水は雨水又は汲置の水にて球の下部二三分を浸し得る程度に與へ日光に直射せしむ可し發根して四五分とならば荒砂或は小石を皿に盛り球根の倒れざる様なし水は時々取り替ふべし在來種及支那水仙等にては球の兩面を堅に頂部より下部二三分を餘す位の處まで心芽を傷けざる程度の深さに切口を入るゝときは發芽開花共に早し而して其切口よりは粘液を分泌するが故に時々之を洗ひ落す可し此方法は十一月下旬に行ふときは正月用として間に合ふべく若し早く開花し或は葉の伸び過ぎる虞あれば時々水を切り又は凍らざる程度の場所に置く可し之が適温は攝氏十度乃至十五度にして室内空氣の乾燥甚だしきに失し又溫度の急激

なる變化光線の不足等の爲め蓄を着生しながら開花せざるごとあるは常に吾人の經驗する所なれば此等の點に付充分注意せられんことを望む

蟹仕立法

蟹仕立法となすには重に支那水仙及び在來種に行ふものにして葉及び花軸共に短く其の狀恰も蟹の這ふが如き觀あり矮生仕立として愛す可し其方法は母球及母球の兩側に併列する子球と共に其中央の心を損せざる様殆んど球の半分を下底少しく殘して切り去り花蕾及葉芽を露出せしめ現れたる葉縁を堅に少しく切去るべし球は一夜淨水に浸して粘液を津出せしめ之を拭取り水盤に四五分位の深さに砂利を盛り砂利の隠るゝ位に水を入れ横に水仙を置き根部に紙を貼り該部に日光の直射を避けしめ日當り能き處にて培養すべし斯くして數日を経過する時は心芽の葉、蕾共に綠色を帯び曲りながら上向に伸長を始め蕾は四五寸の長さに伸びるも葉は僅かに一二寸の高さとなり手術して二三週間を経過すれば開花するに至る

球根の撰擇法

水仙の球根を購入するに當り健全なる蕾を多數に包含せるものを得るには可成肥大にして重きものを撰ぶ可し尙支那水仙及在來種を撰ぶには肥大なる母球に多數の圓

大なる子球の着生するものを撰ぶ可し斯かるものには優に七八本の花軸を抽出するものを得ん

鉢植となしたるものは落花後花軸を剪り去り充分肥培し且つ日光に直射せしむるときは球は成熟して葉は黄色を呈するが故に漸次灌水を控へ全く枯葉するに及び之を凍死せざる程度の場所に其儘或は掘り上げて貯藏し八九月頃植出す可し而して水栽培に供したるものは種球用としては不可なり

一三、シクラメン 和名ブタノマンジツ

「シクラメン」は地中海邊の野生球根植物にして櫻草科に屬す其葉は心臟形をなし表面濃綠色にして之に淡緑の班紋を有するものあり其の裏面は暗紅色を呈す其蕾は下向に着生し開花するときには花瓣のみ上向きとなり其狀篝火を視るの思ひあらしむ故に「カガリバナ」ども稱す其の繁殖法は専ら實蒔法による播種の時季は九月頃より三四月頃までを最も可とす先づ種子を微温湯に浸すこと一晝夜にして砂質壤土を盛れる播種箱或は鉢に播き灌水に注意して攝氏二十四五度の溫度を有する場所に置き硝子板を覆ひ置くときは二三十日間に發芽するに至る發芽後は弱き日光に當て本葉二葉位生するに及び肥土三腐葉土二砂一の培養土にて二寸鉢に移植し活着したるときは

時々水肥を施す可し而して植換の際は球根の三分の二は地上に顯はし植うるを可とす尙本葉四五葉を發生するに及び三寸鉢に植換へ七八葉を發生するに至らば更に四寸鉢に移して開花せしむべし斯く培養したるものは大抵十二月頃より開花し始め翌四五月頃より漸次其葉に勢力を失ふを視るが故に之より漸次灌水を控へ涼しくして雨露のなき場所に貯藏し九月頃其培養土を取り替へて室内に取り込む可し而して此際充分發芽を催ふすまでは多量の灌水を行はざるを可とす其の適當なる温度は攝氏二十度内外にて可なり蚜虫「アザミウマ」「アカダニ」等の害虫葉裏に寄生するが故に注意すべし肥料は大豆粕過燐酸石灰菜種粕等の浸汁を稀薄となして用うべし

一四、グロツキシニヤ (又シンニギヤ)

「グロツキシニヤ」は苦苣苔科に屬する不耐寒多年生球根植物にして高さ四五寸球は扁圓にして葉は廣大表裏共に白き軟毛を有し天鵝絨に觸るゝの感あり花は大なる筒狀を成し白紅紫等の色あり花の内面も軟毛を有し艶麗なり其繁殖法は實蒔、芽挿及葉挿並に球根分割法等に依るを得實蒔法は露地にては四五月頃温室を有するときは一月頃種蒔箱に砂質壤土を盛り充分灌水して播種し薄く土を篩ひ掛け硝子板を覆ひ二十度位の温度を有する場所に置き發芽するに及び薄く日光に當て四五分に成長したる

ときは他の平鉢或は淺き箱に播種の際と同様の土を盛り二寸距離に移植し其の葉相接するに及びて三寸鉢に腐葉土と砂を多量に含む培養土を盛り之に培養するときは八九月頃に開花するに至る斯くて開花了らば水を控目に灌き全く莖葉の枯凋したるとき其の儘翌春迄温暖にして乾燥せる場所に貯藏し四五月頃古土を捨て三四寸鉢に植込む可し然れども其の以前に發芽伸長することあるときは直ちに移植するを可とす肥料は稀薄なる水肥を四五日毎に施し水は稍過ぎることあるも差支なし然れども葉上殊に心芽に水の滯る事は最も禁物なり而して開花終了後は漸次灌水を控へて莖葉を枯凋しめ前記の方法にて越冬せしむ可し芽挿法は越冬したる球根より春季數芽を發生するにより母球には其の内強健なるもの一芽を残し他は悉く丁寧に缺取り其儘挿床に砂挿となし充分發根するに及び二寸鉢に上ぐべし葉挿法は稍成熟したる葉を葉柄共剪り取り砂挿となし或は葉の主脈の裏面數ヶ所に切り目を入れ其各部より發根せしむべし挿床の表面に置き葉柄のみは床に挿す可し其葉脈上に細砂を覆ふか或は細かき針金をU字形に曲げ葉脈の地面より離れざる様留むるも可なり斯くなすときは一二週日の後各部より發根し漸次球根を形成するが故に之を一個宛に剪離し三寸鉢に移植し肥培するときは其球根より發芽し開花を見るに至る球根分割法は第

一編第六章第七項球根繁殖法の章を参照す可し

一五、カラデューム 和名錦芋

「カラデューム」は天南星科に属する球根植物にして其の形状恰も里芋に似たる観葉植物なり葉は白、紅、黄、桃、緋、紅、暗紅、緑等にて種々の斑點あり其種類百以上ありと云ふ其培養法は三四月頃腐葉土と肥土とを等分に之に少許の砂を加へたる培養土を以て三四寸鉢に植へ十五六度の温度を有し日光の直射せざる場所に置く可し發芽後は充分に灌水するときには良く生育するものなり

葉の茂るに従ひ五六寸鉢に移し多數の根を鉢の底穴より出すに至らば極稀薄なる水肥を日々與ふるを可とす尙秋季葉の枯れ始むるに及び漸次灌水を控へて全く枯葉するに至らば十度乃至十五度位の暖かき場所に置き甚だしく乾燥せざる様時々少量の灌水を行ふ可し繁殖法は芋の所々に芽を有するが故に「グロツキシニヤ」の分割法と同様に行ふ可し

一六、護謨樹 洋名フィクス

强健なる熱帯植物なるも比較的底温及び空氣の乾燥に耐ふるを以て室内栽培に適す繁殖法は取木法挿木法等による可きも挿木法によるを最も容易なりとす其の法は一

二年生の新梢を二三節に切り砂挿となす護謨は其葉極めて大なるが故其の挿穂毎に紐を以て結び置く可し活着後は四寸鉢に排水よき培養土にて植付け生育を始むるまで弱き日光に當て活着後は日光に直射せしむ可し肥料は水肥を屢々施し鉢内に根の充分廻りたるとき更に五六寸鉢に移す可し冬季は攝氏十度以下の場所に置かざるを可とす種類には青葉、斑入り葉、柏葉等あるも青葉最も品位あり

一七、棕櫚類 洋名パーム

棕櫚科に屬す棕櫚類の内にて在來棕櫚「リビストニア」「ケンチア」「フェニックス」「ドラセナインデビサ」「コルデイリネ」等は皆觀葉の目的にして四季觀賞するに宜し(但し「ドラセナインデビサ」「コルデイリネ」等は棕櫚類にあらざるも其管理法略同様なるに

より此處に併記す)繁殖法は皆實蒔法によるも「ドラセナインデビサ」「コルデイリネ」等は株分法によることを得播種法は腐葉土と砂を多く含める排水よき土を細目の篩に通して播種箱に盛り「ドラセナインデビサ」及び「コルデイリネ」の種子を除く外は二晝夜位温湯に浸して播種し硝子板を覆ひて二十度乃至三十度の温度を有する場所に置くときは早きは十日晩くも三十日位にして發芽するものなり「ドラセナインデビサ」及び「コルデイリネ」は四

五葉を發生したる頃三寸鉢に移し其他は一葉のまゝ四五寸に伸長したるとき三四寸鉢に移すべし而して之が培養土は肥土二腐葉土二砂一の割合となすべきも肥沃にして排水よき土には概ね好適す

在來の棕櫚は之を盆栽仕立となすも可なり其の法は二三株を寄せて一株となし培養土は鉢底に小石を敷き細砂を以て培養するとき葉短かく風致あるものを得可し彼の棕櫚竹觀音竹等も右の方法にて培養することを得

前記の各種は播種して二三年を経過せざれば適當の觀賞用に供し難きものなり故に二三年生以上の苗を購入して培養するときは早く其用に供し得べし棕櫚は葉の尖端より枯れの入ることあり若し之を發見したるときは速かに剪り除かざれば他に蔓延するの虞れあり又アカダニの被害あるが故に發生したるときは海綿に殺虫劑を含ませしめ拭き取るべし肥料は稀薄なる水肥を度々施すを要す

一八、バラン 蜘蛛抱蛋 洋名アスピテイヌツラ

「バラン」は我内地西南地方に多く培養せらるる活花用として珍重せらるゝは人の知る所なり百合科に屬する多年生の草本にして陰地を好むものなれば室内栽培に適す其培養又極めて容易にして肥土及腐葉土を各等分に砂の小量を加へたる培養土を用ひ稀

薄なる水肥を月二三回施し灌水を怠らざる様なすべし冬季間は灌水を控目となし冬季凍害せざる様注意すべし二年隔位に古土及び古株を落し植替ふ可し繁殖法は株分法による

一九、オホカヤツリグサ 洋名シペラス

「オホカヤツリ」草は水濕の地に産する不耐寒多年草なり草丈五六尺に及ぶ小水盤にては二三尺となる夏季室内の裝飾として涼しき思あらしめ冬季の裝飾にも亦適當なり繁殖法は實蒔穂挿根分法等あり實蒔法は淺き水盤に泥を盛り播種するときは一二週間にて發芽するが故に其後漸次日光を直射せしめ水肥を施す可し草丈數寸に成長したるとき深き水盤に泥を盛り之れに移すべし又穂挿法は其葉を有する部分を開花せざる以前に剪り取りて泥に挿し置くとときは活着するものなり此法は一年を通じて行ひ得るものにして夏時最も容易なり活着後屢々水肥を與ふるときは迅速に發育するものなり其莖葉は年々五六月頃新芽と更新するが故に此際前年生のものは根元より剪り去り尙其株張りて水盤に餘る際は根分或は一層大なる水盤に移すべし

二〇、コリウス 和名錦紫蘇

「コリウス」は紫蘇科一年草にして其葉は白黄紅薄紅暗紅等種々の色彩を顯はし甚だ美なり三四月頃平鉢に砂質の培養土を盛りて之に播種し薄く土を覆ひて硝子を被せ温かき所に置き發芽するに及びて弱き日光に當て四五葉を發生したる頃他の平鉢に二寸距離に移植を行ひ時々稀薄なる水肥を施し葉の相接するに至り三寸鉢に一本宛移植すべし移植當時は暫らく日蔭に置き充分勢力の恢復を待て漸次日光に當て乾燥せざる様注意し又稀薄なる水肥を屢々施すべし種類によりては九月頃より異なりたる色彩を顯はすものあり種子は秋季に至り成熟するものなれば漸次採收す可し

二一、仙人掌一名霸王樹 洋名カクタス

仙人掌はメキシコブラジル等の熱帯乾燥地に自生する多年生植物にして室内栽培には最も適す莖枝共に異形をなし葉を有するものは稀にして概ね刺に化せり仙人掌は劍狀をなせるもの俵形をなすもの蟹の爪形紐形棒狀其の他種々奇形をなし觀賞するに足る而して花には一重八重三段咲四段咲等あり色は白黄桃紅濃紅等種々あり繁殖法は實蒔法及挿木法等もあるも重に挿木法による即ち分岐せる所より缺取り長きものは中途より剪りて砂挿となす可し挿穂は深さ四五分を挿し夫れに箸大の支柱を二三寸床地に挿して穂を柔く結付くべし仙人掌の培養土は肥土と荒き砂を當分に混じ鉢

底には多量の小石を入れ排水可良なる肥土を用ゆること肝要なり充分日光に直射せしめ冬季は灌水を控へ目になし温度の高きは差支なきも攝氏五度以下には絶對に下らざる様勉む可し

二二、龍舌蘭マンネラン 洋名アグービ

龍舌蘭は石蒜科に屬する熱帯植物にして室内栽培に最適するもの、一なり其葉厚くして廣く且つ長し縁邊には鋸齒狀の刺を有し葉の長さは種類によりて一樣ならざれども大抵一尺乃至四尺位なり其中亦廣狭ありて中に縞をなせるものあり繁殖法は専ら株分法にして容易なり冬季は灌水を控目にし温度も四五度以下には下らざる様なす可し

二三、其他の種類

室内栽培用植物としては右の外種々あり彼の「カーネーション」金蓮花「アスパラガス」ブレンダリー「同」ブルモサナ、ス「忘忽草」君が代蘭「レセダ」ツタ「類岩蓮華」アリサム「其他種々あれども一二年草及び多年草花卉の章に記載せるを以て此處に省略すべし

第三章 窓函用植物

窓函用に適する花卉は其花卉の條下に述べたり然れば此處には栽培上特に心得べき點を述べん窓函に花卉を植む付けんとするには函の縁を現はさざること之なり是が方法としては金蓮花ベチユニア「リナリア」蔦葉天竺葵スマイラックス等容易に得らるゝ蔓性のものを縁植となすにあり中に植うるものには天竺葵類芳香を有する「レセダ」「カーネーションヘリ」「ヘリオトロップ」其他可憐なる忘忽草アリサム「仙人掌其他草丈の高からざるものを選びし蔦類を函の兩端に植む窓の縁を飾り或は壁に匂はしむるも趣あるものにして鉢植となし函に埋むるときは植込花の取替に際し便利なり

第四章 釣籠用植物

釣籠用植物は凡て鉢植となして籠に入れ釣り下げて觀賞するものなり而して之に用うるに適當なる植物は各章條下に記述したれども尙種類を擧ぐれば蔦類蔦葉天竺葵細葉松葉菊ホタルブクロ「忘忽草蟹葉サボテン」紐「サボテン」アスバラカス、スプレングリ「同」ブルモサナ、ス等之に屬す尙本編に栽培法を記述せざれども蔓桔梗「コブナグサ」「オリヅラン」「モイランディア」「ツンベルギア」等も又釣籠賞観用に適す

和名索引表

和名	頁數	和名	頁數
アキザクラ	三四	エゾギク	三五
アサガホ	四八	エニシダ	五三
アラセイトウ	五三	オの部	
アキギク	六八	オハルシヤギク	三四
イの部		オイランソウ	三八
イワレンゲ	五七	オシロイソウ	四五
イトラン	七六	オホセヨウタン	五九
ウの部		オホナガヘチマ	五九
ウキツリボク	八九	オダマキ	六〇
ウツコンコウ	九九	オニゲシ	六六
エの部		オランダキジカクシ	六七
		オホカヤツリグサ	一〇九
		エカ	八

カイザイグ	三三	クサキヨウチクトウ	三八
カイガラソウ	三三	クジヤクソウ	四一
カラナデシコ	六六	クワンシヨウソウ	五八
キの部		ケの部	
キキヤウナデシコ	三八	ケイトウ	三三
キンケイソウ	四〇	ケシ	三九
キンセンクハ	四三	ケマンソウ	七九
キンギヨソウ	四六	ケコ	四一
キンレンクハ	五六	コウワウソウ	四一
キツネノテブクロ	六〇	コチヨウソウ	五五
キミガヨラン	七六	コム	一〇六
ギボウシ	七八	ニサの部	
キヅタ	八〇	サンシキスミレ	四五
キダチルリソウ	九一	サルビヤ	四六
クの部		サボテン	一一〇

シの部		ダンドク	七五
ジャコウナデシコ	六一	タニウツギ	七九
ジヨチウギク	六六	ツの部	
シヤクヤク	七七	ツクモソウ	三四
ジャコウランヂクアオイ	九〇	ツリガネソウ	四八
シユロルイ	一〇七	ツキヌキニンドウ	七九
ススの部		ツタ	八〇
スキセン	一〇〇	ツタバテンヂクアオイ	八九
セの部		ツクバネアサガホ	九二
センナリセヨウタン	五九	テの部	
セイヨウオダマキ	六〇	テンリンクワ	四一
セキチク	六六	テンヒンギク	四三
タの部		テンヂクボタン	六二
タチフヂ	三八	テンヂクアオイ	八九
ダウクワンソウ	四五	ニの部	

ニホイアラセイトウ	七五	ハナサフラン	一〇〇
ニシキイモ	一〇六	バラ	一〇八
ニシキシソ	一〇九	ヒの部	
ノボリフヂ	三八	ヒメカイザイク	三三
ノウゼンハレン	五六	ヒモケイトウ	三四
ハの部		ヒナケシ	三九
ハゲイトウ	三四	ビジョサクラ	四〇
ハナホフキサウ	三五	ヒヤクニチソウ	四二
ハナガサソウ	四〇	ヒマワリ	四四
ハルシヤギク	四二	ヒシザキヤグルマソウ	五四
ハナビシソウ	四八	ピランジ	六二
ハナシユンギク	五七	フの部	
ハナシヨウブ	七六	フジボタン	七九
バラ	九四	ブタノマンジウ	一〇三
		フクシヤ	九二

スウジンシ	九八	モの部	
ペンケイソウ	七八	モクセイソウ	三六
ベニウツギ	七九	モクシユンギク	九三
ホの部		ヤの部	
ホタルブクロ	四八	ヤツシロソウ	四八
ボタン	七七	ユの部	
マの部		ユウチヨウクワ	四五
マガリバナ	五五	リ	
マツバウド	六七	リウゼツラン	一一一
マツバギク	九二	ワの部	
マンジュギク	四一	ワイセイカイザイク	三三
マンネンラン	一一一	ワスレナグサ	五四
ム			
ムギワラギク	三三		

洋名索引表

洋名	頁數	洋名	頁數
アアの部	三三	アプテユロン	八九
アクロクリニウム	三三	アスピダイスツラ	一〇八
アンモビニウム	三三	アゲイビ	一一一
アマランサス	三四	イの部	
アスター	三五	イリス	七六
アンチルビスム	四六	ウの部	
アリサム	五六	ウオールフラワー	七五
アタイレジャ	六〇	オの部	
アスバラガス	六七	オナメタルグラス	五八
アスバラガスブレンダリ	六七	オリエンタルポビー	六六
アスバラガスブルモサナ、ス	六七	オネーサツタル	七九
アンチエトサ	七四	カの部	
アイグイ	八〇	カレンデュラ	四三

ガイラルデア	四三	ケンチヤ	一〇七
カンバニユラ	四八	コの部	
カーネーション	六一	コツクスゴンブ	三三
カンナ	七五	コヌモス	三四
カラデューム	一〇六	コキア	三五
カクタス	一〇	コレオプシス	四〇、四二
キの部		ゴデチヤ	五七
キヤリホルニヤボビー	四八	コライレドン	五七
キヤンデイトフト	五五	コルデイリネ	一〇七
クの部		コリエトス	一〇九
クラキヤ	五五	クの部	
タリサンセマム	五七、六六、六八	サルビグロツシス	三七
クローカス	一〇〇	サンフラワール	四四
ドロツキシニヤ	一〇四	サボナリア	四五
ケの部		サルピヤ	四六

シの部

ジンニア……………四二
 シザンサス……………五五
 シテイストスコバリユース……………五三
 シレネ……………六二
 シヤスタ―デジー……………七四
 シクラメン……………一〇三
 シンニンギヤ……………一〇四
 シペラス……………一〇九
 スの部……………一一〇
 ストツクス……………五三
 スキ―トサルタン……………五四、六七
 スマイラツクス……………六八
 セの部……………四八
 セロシヤ……………三三

セダム……………七八

ゼラニウム……………八九

タの部……………四一

タゲラス……………四一

ダーリヤ……………六二

ダイアンサス……………六六

チの部……………一〇一

チギタリス……………六〇

チユ―リツブ……………九九

テの部……………一〇二

テイセントラ……………七九

デイエルヅイラ……………七九

トの部……………三三

ドラセナインヂピサ……………一〇七

ナの部……………一〇七

ナスタ―ラユーム……………五六

ナ―シサス……………一〇〇

ハの部

ハーベナ……………四〇

パンジー……………四五

バーム……………一〇七

ヒの部

ヒヤシンス……………九八

フの部

フロツクス……………三八

フオアゲツトミ―ナツト……………五四

フンキア……………七八

フユ―シヤ……………九二

フィクス……………一〇六

フェニツクス……………一〇七

への部

ヘリクリサム……………三三

ヘリアンサス……………四四

ペオニー……………七七

ペラゴニウム……………八九

ヘリオトロ―プ……………九一

ペチユニヤ……………九二

マの部

マリゴ―ルド……………四一

マテイオラ……………五三

マーガレット……………九三

ミの部

ミニオネツト……………三六

ミラピリス……………四五

ミョヅテス……………五四

326
204

メの部		
メセンブリアンセマム	九二
モの部		
モトニンググロリ	四八
ユの部		
ユツカ	七六
リの部		
リビストニア	一〇七
ルの部		
ルーピナス	三八
ルーピン	三八
レの部		
レセダ	三六
ロの部		
ローダンテ	三三
ロニセラ	七九
ローズ	九四

終

